令和3年度

天下森スキー場等整備全体計画書

目次

1.事業概要 1
（1）事業目的 1
2.現状分析 2
（1）天下森スキー場等周辺の現状.....2
（2）土地利用法規制.....17
（3）利用実態 20
（4）周辺施設状況 26
（5）社会的ニーズ 29
（6）現状課題のまとめ 32
3.整備全体計画 33
（1）整備方針 33
（2）ゾーンニング・動線分析と計画.....34
（3）整備全体計画 36
4.個別計画 37
（1）天下森スキー場　ゾーン 37
（2）周辺施設の整備.....49
（3）駐車場、市道、サイン等.....60
5.事業計画 63
事業メニューと概算工事費.....63
6.維持管理計画 64
（1）予防保全施設の維持管理.....64
（2）管理運営計画 67
7.夏虫沢ヒュッテ基本設計に向けて 67
（1）屋根形状について 67
（2）休憩所のそば提供エリアの夏営業について 67

1.事業概要

（1）事業目的

増田地域にある天下森スキー場は、昭和 57 年 12 月にオープン。スロープ延長 1,400 mを有し、ファミリーゲレンデとして多くのスキー愛好者から利用されている。

これまで、ゲレンデ拡張、ペアリフト新設、林間コース新設、夏虫沢ヒュッテ新設などを実施し、利便性の向上に努めてきたが、開設より 39 年が経過しており、施設や設備、圧雪車等の老朽化が著しく、大規模な施設整備が必要な時期にきている。

本計画は、天下森エリア(スキー場、ふれあい農園、釣りキチ三平の里体験学習館)において、施設をいかした滞在できるエリアとして、年間を通じ活用ができるソフト事業と、スキー場を中心とした各施設の改修整備の方向性を取りまとめた整備計画を作成し、地域づくり、観光・産業振興に資するものである。

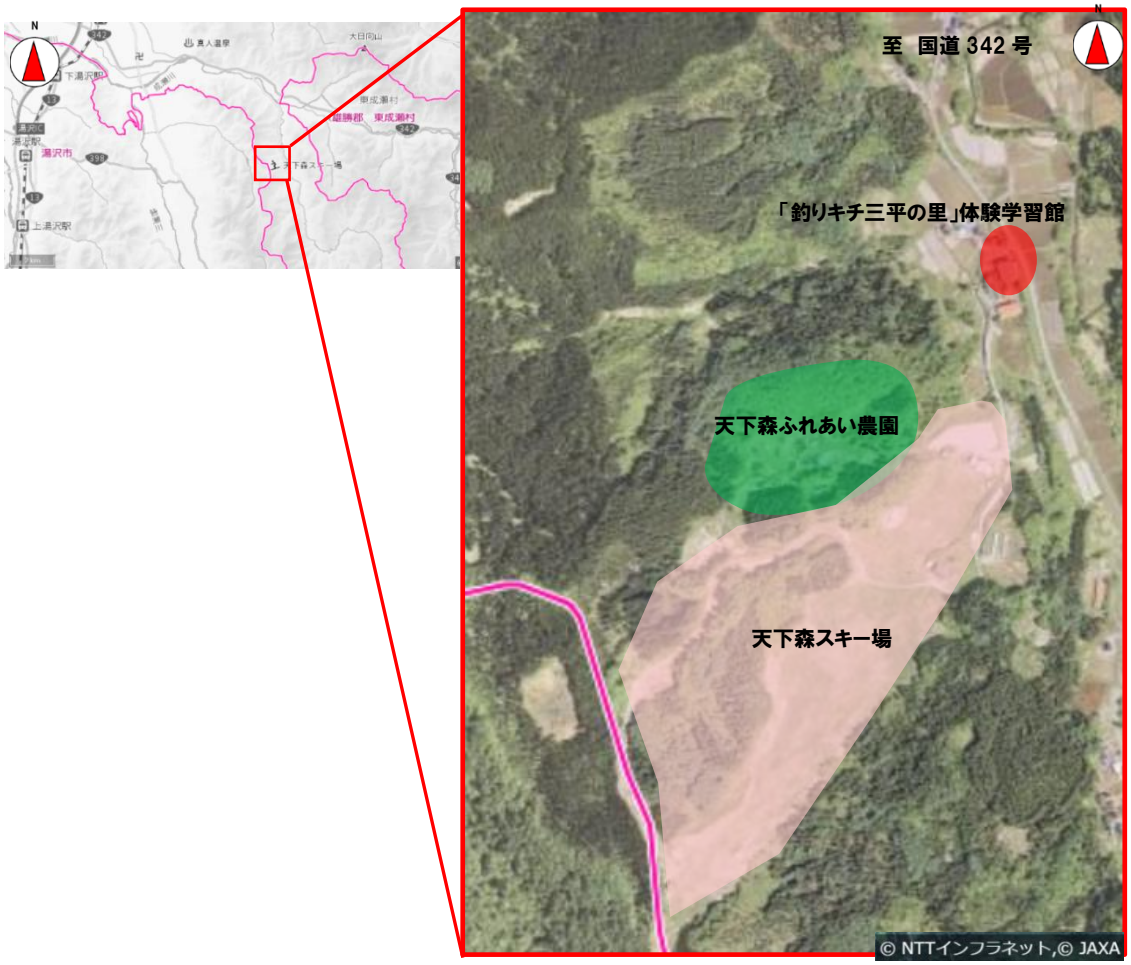


図 1-1　対象地域位置図

2.現状分析

(1) 天下森スキー場等周辺の現状

① 施設現況

→2つのヒュッテのうち、天下森ヒュッテは利用されていない。

→建設から 25 年以上経過する施設が多く、老朽化対策が必要となる。

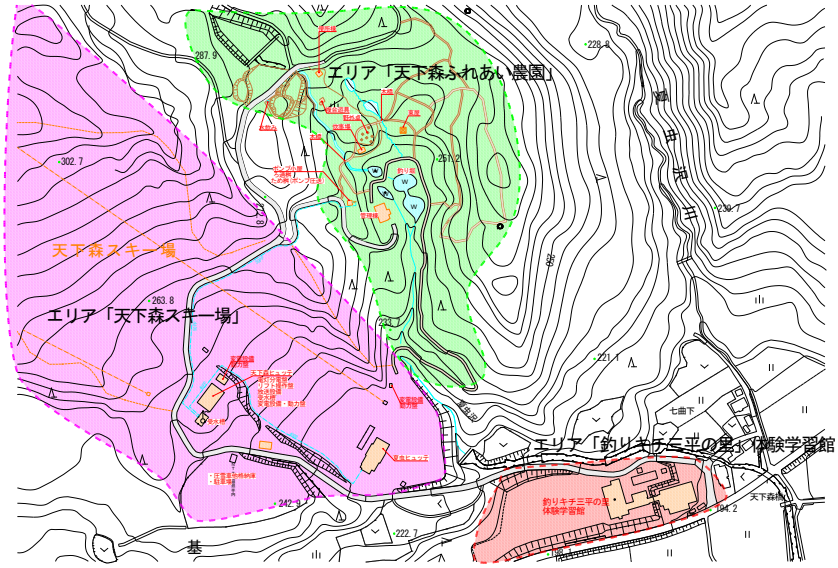


図 2-2　施設位置図

表 2-1　施設概要

No	エリア	既存施設	施設概要
1	天下森スキー場	天下森ヒュッテ	・昭和58年12月竣工。（38年経過） ・地上2階　鉄骨造　カラー鉄板葺き ・建築面積　440.63㎡
2		夏虫沢ヒュッテ	・平成7年12月竣工。（26年経過）323㎡ ・地上1階 木造 カラー鉄板葺き ・ 建築面積　323m2　（H13増築（厨房）39㎡） ・駐車場150台収容可能
3		ゲレンデ	・ゲレンデ　7ha ・スロープ延長　1,400m
			・ロープトウ　4基
			・アンバーリフト　11基
			・ナイター設備（平成5年竣工。(28年経過)水銀灯）
			・ペアリフト（平成5年(1993)に建設）
			・Tバーリフト（S59.11.16完成　H13に休止）
			キュービクル（第二キュービクルは平成5年竣工）
			放送設備
		駐車場	
		管理施設	資器材及び圧雪車、スノーモービル等の格納庫
4	天下森ふれあい農園	管理棟	・平成元年 ・地上1階　木造 ・建築面積152.59m^2
5		つり堀	池（4つ）、BBQ設備
6		キャンプ施設	炊事棟、野外卓、テントサイト、東屋、トイレ
7		散策路	散策園路
8	「釣りキチ三平の里」体験学習館（狙半内地区交流センター）		・平成7年改築 ・地上2階　RC造 ・建築面積　814.80m2

表 2-2　整備年表

天下森スキー場		天下森ふれあい農園		「釣りキチ三平の里」体験学習館	
1982 年(S57)	ゲレンデ　7ha　スロープ延長　1200m ロープトウ　4 基　アンバーリフト　11 基　圧雪車　1 台				
1983 年(S58)	天下森ヒュッテ完成(120 人収容)鉄骨造 2 階建　440.66 ㎡				
1984 年(S59)	ゲレンデ拡張　3ha 滑走式リフト(Tバーリフト)新設　586m				
1986 年(S61)	ゲレンデ拡張　2ha スロープ 200m延長				
		1989 年(平成元年)	ふれあい農園 管理棟　完成		
1993 年(H5)	ペアリフト電源供給用キュービクル設置				
1995 年(H7)	夏虫沢ヒュッテ完成(120 人収容) 木造平屋建　284.01 ㎡ 駐車場拡張　120 台 → 200 台　3,820 ㎡			1995 年(H7)	増田東小学校建物改修
1996 年(H8)	林間コース新設　810m　圧雪車　1 台(増車)				
		1999年(H11)	キャンプ施設整備 (屋外トイレ)		
2001 年(H13)	夏虫沢ヒュッテ厨房増築　プラス 39.33 ㎡				
				2002 年(H14)	増田東小学校廃校
				2010 年(H22)	体験学習館　開設 (建物用途変更)
2013 年(H25)	圧雪車　1台(更新)				

1）天下森スキー場の現状

A．天下森ヒュッテ

施設老朽化及びスキー場拡張に伴う利便性の低下から、来訪者の利用は行っておらず、放送設備、電気設備の管理棟、スノーモービルやスキー場安全管理機器等の倉庫として利用している。

外　観

ゲレンデの眺め

内部（倉庫利用）

放送設備操作盤

照明、リフト操作盤

受水槽（夏虫沢ヒュッテへ供給）

B．夏虫沢ヒュッテ

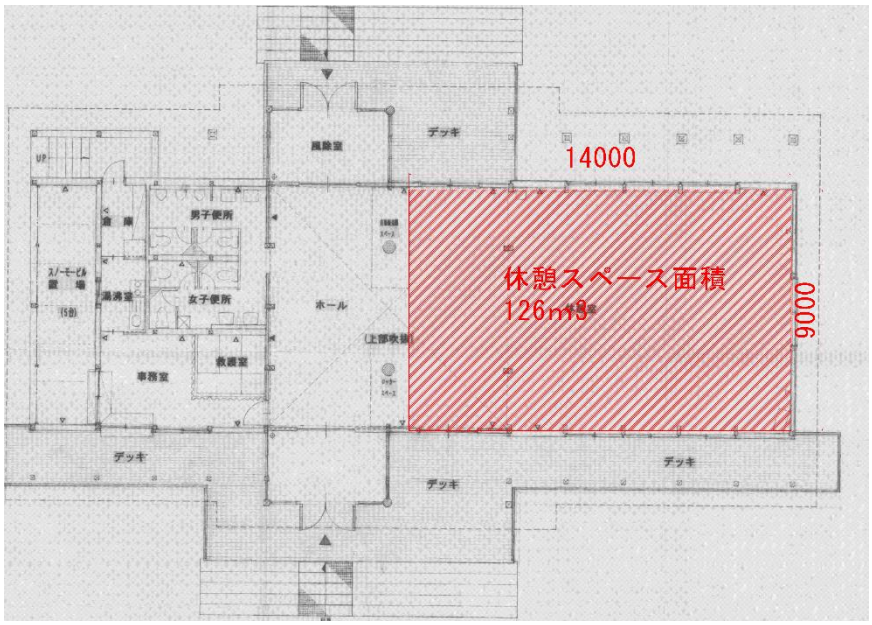
平成７年に建設され、建設後 25 年以上経過している。テラスにあるウッドデッキの老朽化などが著しい。休憩スペースは、スキー授業の団体利用時において、最大 120 席を確保している。休憩施設の面積は概ね 126m² と一人当たりの占有面積が 1.0m² 程度とすし詰め状態となる。平成 13 年に厨房部が増築され、食事の提供も可能となっている。

夏虫沢ヒュッテ外観（ゲレンデからの眺め）

スキー授業　食事風景

夏虫沢ヒュッテ　正面入り口

夏虫沢ヒュッテ　デッキ（券売、レンタルスキー貸出場）



＜参考計算＞

食堂の種類ごと　１席あたりの床面積（m²）から、適正な人員数を設定する。

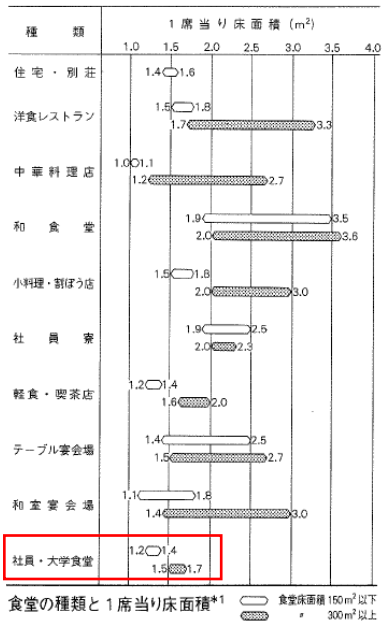
①　社員・大学食堂　150m²以下の場合　1.2～1.4m/席

②　夏虫沢ヒュッテの休憩スペース面積：126m²

③　標準収容人員数＝②÷①＝126m²÷1.2～1.4m/席＝90～105 席

休憩スペースには、食堂として、概ね 100 席程度は確保可能である。

ただし、新型コロナ対策とする場合、概ね定員の半数程度と想定すると 50 席が定員となる。



日本建築学会編　建築設計資料集成　単位空間Ⅰ　P173

駐車場：繁忙期には駐車場が不足し、120 台配置可能であるが、利用困難な個所があり、不足する場合、コミュニティ広場を活用している。

駐車場

駐車場

県道中村上吉野線からスキー場駐車場までの市道が狭隘。冬期間はスクールバスと乗用車の交差がギリギリとなるなど、上り勾配で停車した乗用車等がスリップし立ち往生することもしばしば発生している。

スキー場まで市道

スキー場入口

C．ゲレンデ

スロープ延長 1,400ｍを有している。幅広い天下森ゲレンデ、約 800ｍの区間を迂回するように滑る夏虫沢林間コース。平均傾斜１０度。ナイター設備、ペアリフト、Ｔバーリフト、トウリフトが整備されている。このうち、Ｔバーリフトは老朽化のため、平成 13 年に利用を停止しているものの廃棄されていない。また、平成８年に整備された林間コースでは、放送が聞こえにくいなどの声がある。

ゲレンデ

ペアリフト

スキースクール詰め所、倉庫

ゲレンデ中腹、手前がトウリフト

ゲレンデ中腹市道より上を望む（緩勾配）

圧雪車格納庫

コミュニティ広場

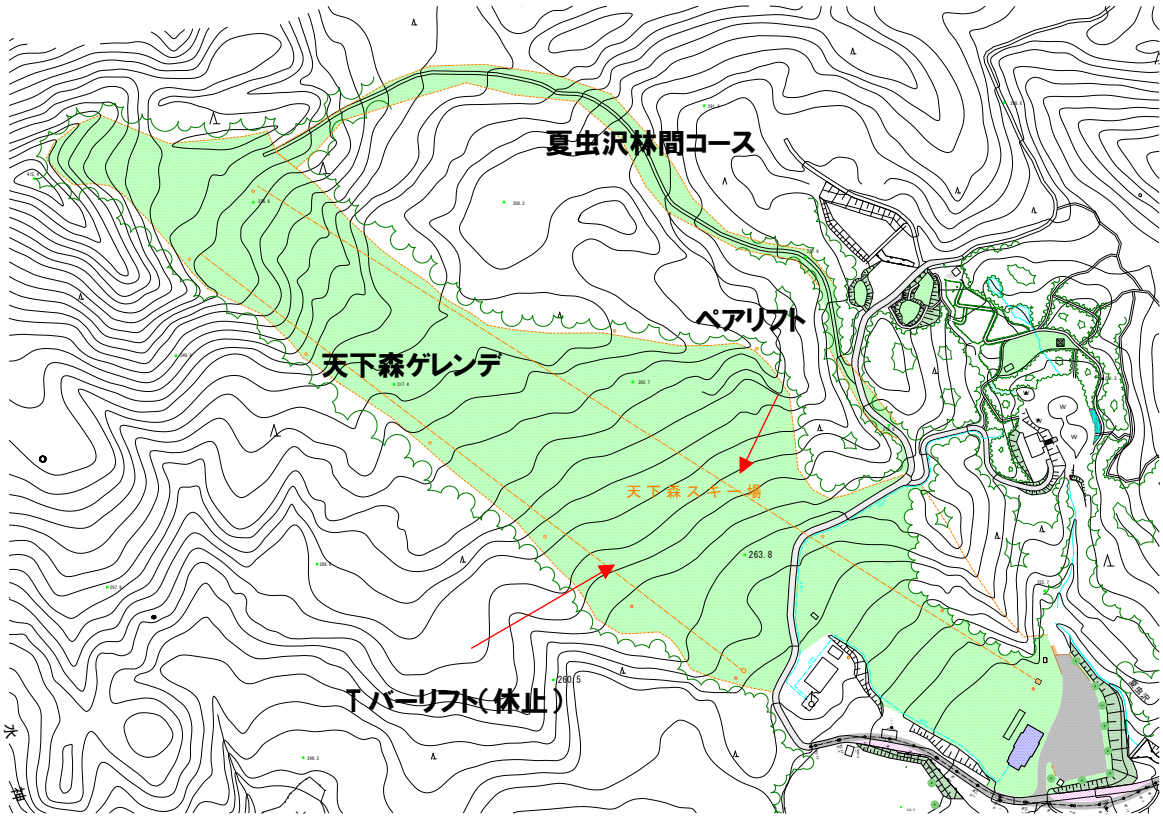


図 2-3　天下森スキー場　ゲレンデの状況

図 2-4　鳥瞰図（点群画像）

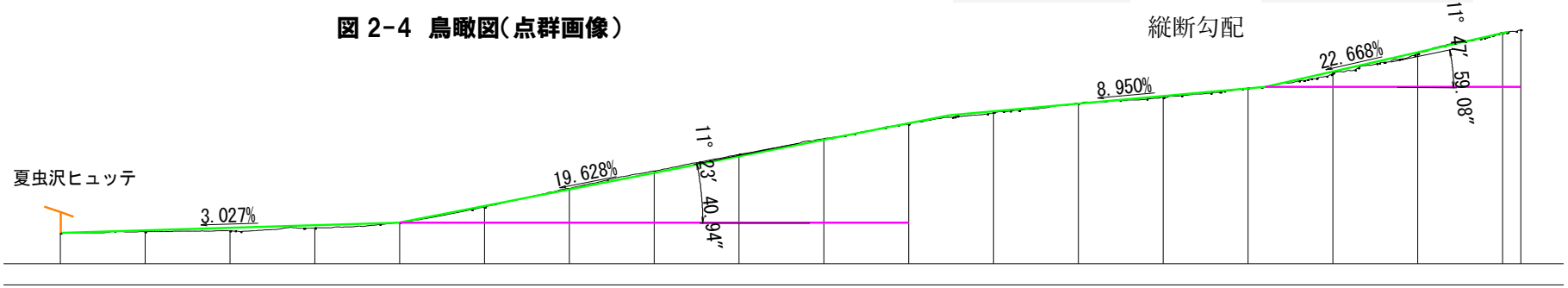


図 2-5　ゲレンデの勾配

D．ふれあい農園　管理棟

ふれあい農園の管理施設及び休憩施設として平成７年に整備されている。

休憩所機能、釣り堀での釣った魚の調理場としても利用できる。施設のバリアフリーなどの課題を有する。

駐車場及び管理棟

管理棟内部

釣り堀への階段

炊事場

①　ふれあい農園　釣り堀

ふれあい農園のメーン施設として、釣りのほか、つかみ取りなどで、多くの方が利用している。

釣り堀池

つかみ取り池

Ｅ．ふれあい農園　キャンプ施設等

建設から２０年以上経過している施設などもあり、老朽化が著しい。

炊事棟・屋外卓

屋外卓

木製遊具（使用不可）

屋外便所（未使用）

芝生広場（傾斜がきつい）

東屋

Ｆ．ふれあい農園　散策路

全体案内板

木橋（通行困難）

散策路

散策路

階段部

散策路

G.「釣りキチ三平の里」体験学習館

平成 22 年に改修され、宿泊可能な研修施設となっている。増田地域の特徴ある様々な体験メニューが用意されている。

体育館外観

研修所外観

研修室

コインランドリー

風呂場

宿泊室

体育館

「釣りキチ三平の里」体験学習館　体験プログラム

【体験活動プログラムメニュー】

	No.	プログラム名	備考		
			およその所用時間	受入可能人数	実施時期、条件等
屋外体験プログラム	1	自然散策体験	2時間30分	10～80人	
	2	イワナ・ニジマス釣り体験	2時間	5～40人	
	3	イワナのつかみ取り体験	2時間	10～60人	
	4	ほたる観察体験	1時間	5人～	6月中旬～7月中旬
	5	ワラビ採り体験	2時間30分	20～80人	5月中旬～６月中旬
	6	ナイトハイク	1時間	5人～	
	7	炭焼き体験	3時間	10～40人	
	8	スキー体験	2時間	5～60人	スキー経験がまったくない方は班編成が異なりますので、ご相談下さい
	9	雪遊び体験	2時間	10～100人	
	10	増田の内蔵見学	2時間30分	10～30人	人数が多い場合はご相談下さい 見学する内蔵数によって所要時間は変動します
	11	農作業（田植・稲刈）体験	2時間30分	100人	
屋内体験プログラム	12	そば打ち体験	1時間30分	6～36人	
	13	木工クラフト体験	2時間30分	10～20人	
	14	お菓子づくり体験	1時間30分	10～40人	作るお菓子の種類によって時間が変動します
	15	わら細工体験	2時間30分	5～30人	わらぞうり程度での時間
	16	マイ箸づくり体験	1時間	5～90人	
	17	民謡体験	2時間	10～50人	

※所要時間には移動時間（往復）を含んでいます。
ただし、乗降時間は含みません。

② 施設等現状課題

→機能保持のための更新が求められる。

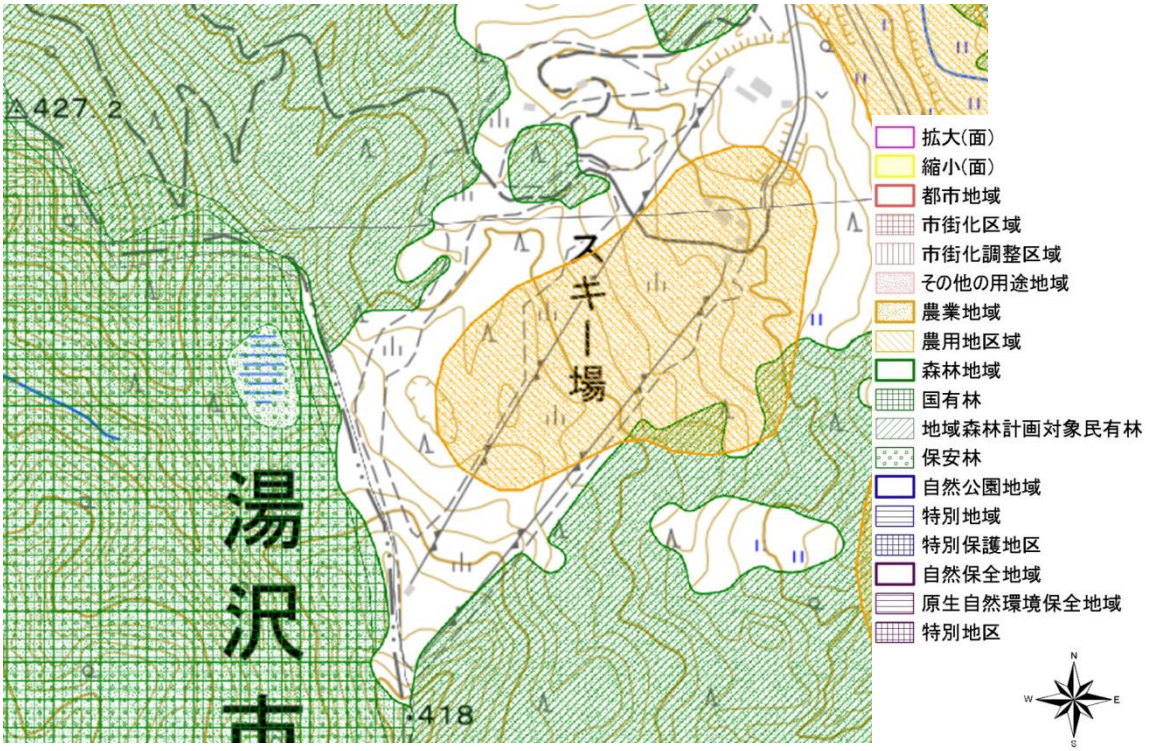
利用しにくさによる機能強化が必要な施設もある。

表 2-3 施設現状と課題

No	エリア	既存施設	施設概要	問題点（施設管理者、指定管理者より）	対策の方向性
1	天下森スキー場	天下森ヒュッテ	・昭和58年12月竣工。（38年経過） ・地上2階　鉄骨造　カラー鉄板葺き ・建築面積　440.63㎡	①施設全体の経年劣化が著しく、現在は一般開放をしていない。 ②スノーモービルや資器材の物置になっている。 ③ナイター、放送設備の主電源があるので夏虫沢ヒュッテへ移設し、集中管理する。 ④第一キュービクルがあり、一部ナイターへ電源を供給。	①老朽化による撤去 ②撤去に伴う供給設備等見直し
2		夏虫沢ヒュッテ	・平成7年12月竣工。（26経過）323㎡ ・地上1階 木造 カラー鉄板葺き ・ 建築面積　323㎡（H13増築（厨房）39㎡） ・駐車場150台収容可能	①屋根が経年劣化により腐食が著しい。錆により雪の滑りが悪く、一度に大量の雪が落雪し、非常に危険。 ②ウッドデッキ部分が経年劣化により木材の破損が著しい。 ③休憩所の客席が少なく、スキー授業受け入れで四苦八苦している。(最大120席程度)日程調整を教育委員会に依頼している。 ※スキー授業の際は、3～4回入れ替えをせざるを得ない状態。 混雑時には、コミュニティグラウンドを仮設の駐車場として使用している。	①アフターコロナへの対応 ②ゲレンデ展望性の確保 ③老朽設備の更新 ④管理動線、利用者動線確保
3		ゲレンデ	・ゲレンデ　7ha ・スロープ延長　1400m		
			・ロープトウ　4基		
			・アンバーリフト　11基		
			・ナイター設備（平成5年竣工。（28年経過）水銀灯）	（製造中止になっている）。	①更新可能な設備への変更
			・ペアリフト（平成5年(1993)に建設。）	・点検台の縞鋼板が腐食により穴き、薄くなって危険。 ・胴体部等は塗装がはがれ腐食（錆）が著しい。 ・山頂降り場床が経年劣化により傷みが著しい。	①老朽設備の更新
			・Tバーリフト（S59.11.16完成　H13に休止）	廃止	①廃止
			キュービクル（第二キュービクルは平成５年竣工。）	・現在のリフト設置時に設置。（28年経過） ・電気設備点検において東北電気保安協会より指摘あり。高圧停電事故に至る恐れがある等。（平成31年3月指摘）	①電気設備の更新（長寿命化）
			放送設備	・一斉放送で全体へのいきわたらない。（特に林間コース） ・メインスイッチが天下森ヒュッテにある ・アンプ、マイク、配線等の経年劣化	①放送範囲拡大 ②管理性の向上、老朽設備の更新
		駐車場		・現状は、150台収容可能である。混雑時には、コミュニティグラウンドを仮設の駐車場として使用している。	①利用実態に応じた規模確保
		管理施設	資器材及び圧雪車、スノーモービル等の格納庫	・圧雪車はビニールハウスに1台格納。1台は野ざらし。 ・スノーモービルは天下森ヒュッテに格納。 ・資器材は天下森ヒュッテに格納。 ・ペアリフトの座席は、駐車場にシートで覆っている	①施設保全のための格納施設確保
4	天下森ふれあい農園	管理棟	・平成元年 ・地上1階　木造 ・建築面積152.59m^2	②トイレの水洗化(浄化槽設置) ③屋根煙突が雪下ろしに支障？ ④水道設備の水量不足の改修(夏虫ヒュッテへも水供給)	①利用者快適性の確保（水洗化） ②供給設備の機能確保
5		つり堀	池（4つ）、BBQ設備	①BBQ広場の設置(休止中の釣り堀を埋立て)簡易BBQ貸出 ②管理棟の接道横へ草地駐車場の舗装	①維持管理性の確保
6		キャンプ施設	炊事棟、野外卓、テントサイト、東屋、トイレ	④野外卓・遊具撤去 ⑤木橋2基の改修 案内板、照明灯、水飲みの老朽化	①老朽設備の更新。撤去
7		散策路	散策園路	①木橋の老朽化	①老朽設備の撤去
8	「釣りキチ三平の里」体験学習館（狙半内地区交流センター）		・平成７年改築 ・地上２階　RC造 ・建築面積　814.80㎡	①暑さ未対策（夏季宿泊利用の機能強化：エアコン） ②供給水不足（連泊時の給湯機能低下） ③漏水、外壁損傷 ④石油タンクの降雪未対応（屋根設備）	①老朽施設の更新

（2）土地利用法規制

→天下森スキー場周辺は、森林地域（国有林（湯沢市側）、民有林）に囲まれた地域で、スキー場内は一部農業振興地域（採草牧草地）に指定されている。

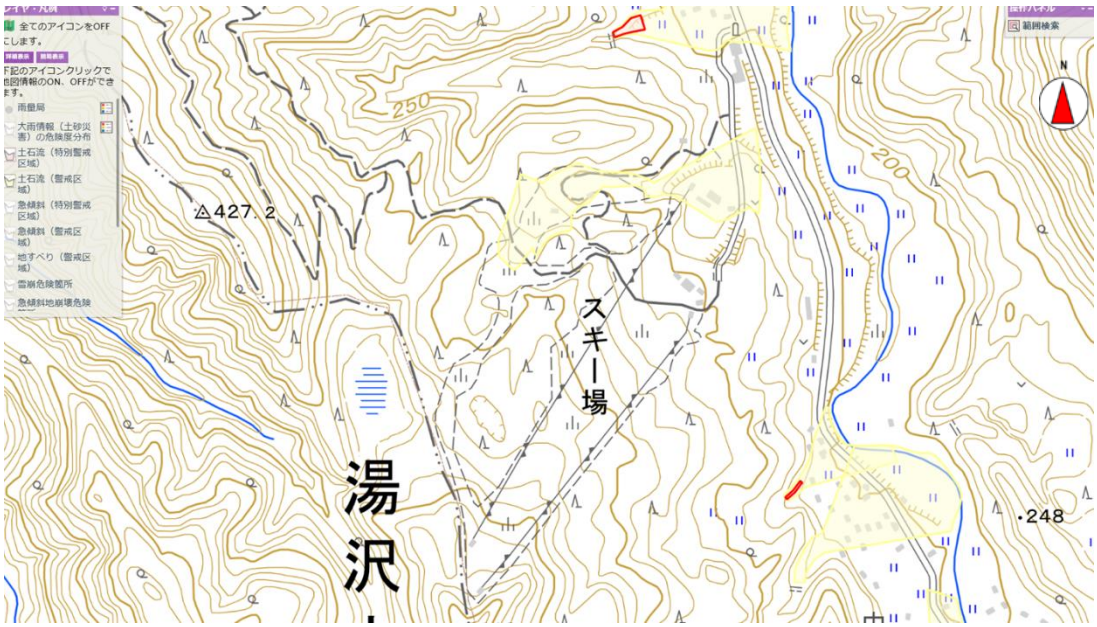


五地域	五地域の定義	五地域の運用上の定義	細区分
都市地域	一体の都市として総合的に開発し、整備し、及び保全する必要がある地域	都市計画法（昭和43年法律第100号）第５条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域	・市街化区域(都市計画法第７条第１項の市街化区域をいう。) ・市街化調整区域(同項の市街化調整区域をいう。) ・都市計画区域の用途地域を定める範囲(区域)(同法第８条第１項第１号の用途地域をいう。)
農業振興地域	農用地として利用すべき土地があり、総合的に農業の振興を図る必要がある地域	農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）第６条により農業振興地域として指定されている又は指定されることが予定されている地域	・農用地区域(農業振興地域の整備に関する法律第８条第２項第１号の農用地区域をいう。)
森林地域	森林の土地として利用すべき土地があり、林業の振興又は森林の有する諸機能の維持増進を図る必要がある地域	森林法（昭和26年法律第249号）第２条第３項に規定する国有林の区域又は同法第５条第１項の地域森林計画の対象となる民有林の区域として定められている又は定められることが予定されている地域	・国有林(同法第２条第３項の国有林をいう。)の区域 ・地域森林計画対象民有林(同法第５条第１項の森林計画区に係る民有林をいう。)の区域 ・保安林(森林法第25条第１項の保安林をいう。)の区域（森林地域内に含まれない場合も）
自然公園地域	優れた自然の風景地で、その保護及び利用の増進を図る必要があるもの	自然公園法（昭和32年法律161号）第２条第１号の自然公園（国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園）として指定されている又は指定されることが予定されている地域	・特別地域(自然公園法第20条第１項及び第73条第１項の特別地域をいう。) ・特別保護地区(同法第21条第１項の特別保護地区をいう。) ・海域公園地区(同法第22条第１項の海域公園地区をいう。)
自然保全地域	良好な自然環境を形成している地域で、その自然環境の保全を図る必要があるもの	自然環境保全法（昭和47年法律85号）第14条の原生自然環境保全地域、同法第22条の自然環境保全地域又は同法第45条第１項に基づく都道府県条例による都道府県自然環境保全地域として指定されている又は指定されることが予定されている地域	・原生自然環境保全地域(自然環境保全法第14条第１項の原生自然環境保全地域をいう。) ・特別地区(同法第25条第１項及び第46条第１項の特別地区をいう。) ・海域特別地区(同法第27条第１項の海域特別地区をいう。)

図 2-6　土地利用現況

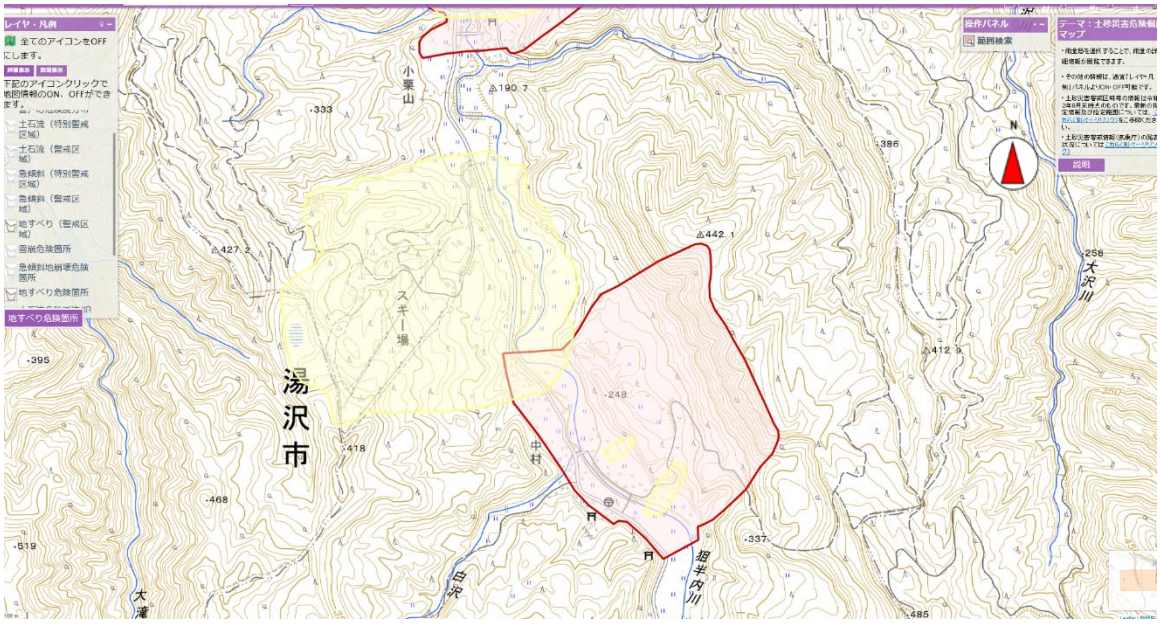
→土砂災害警戒区域（地すべり、2035-0014）、砂防指定区域を含む区域である。
法規制：建築制限、地すべり誘発行為を制限。

①　土砂災害警戒区域



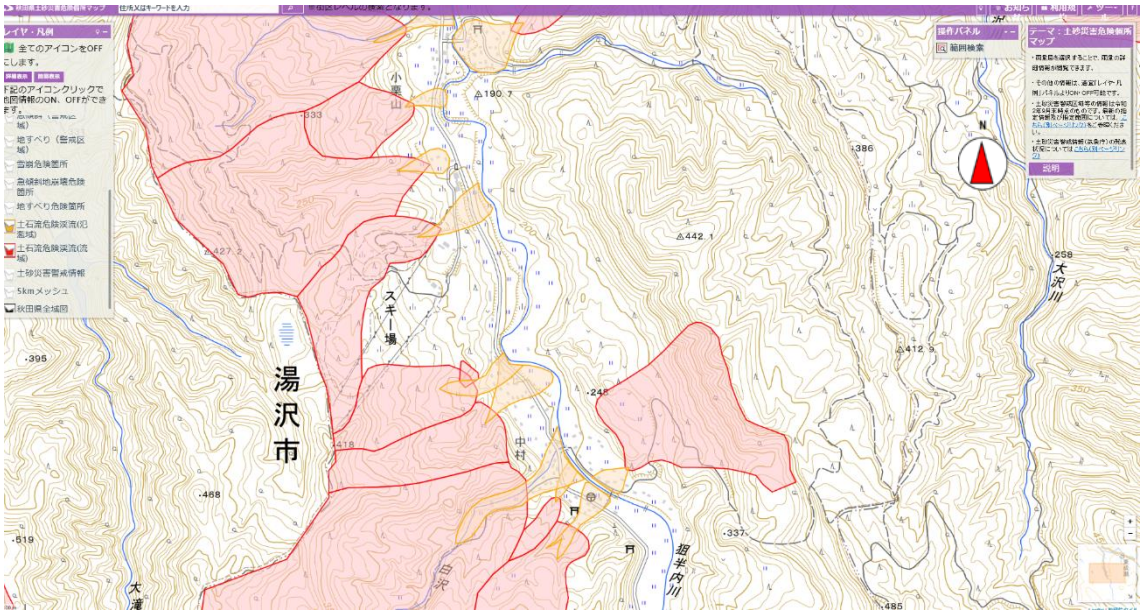
出典：秋田県土砂災害危険個所マップ　http://sabomap.pref.akita.lg.jp

図 2-7　土石流警戒区域



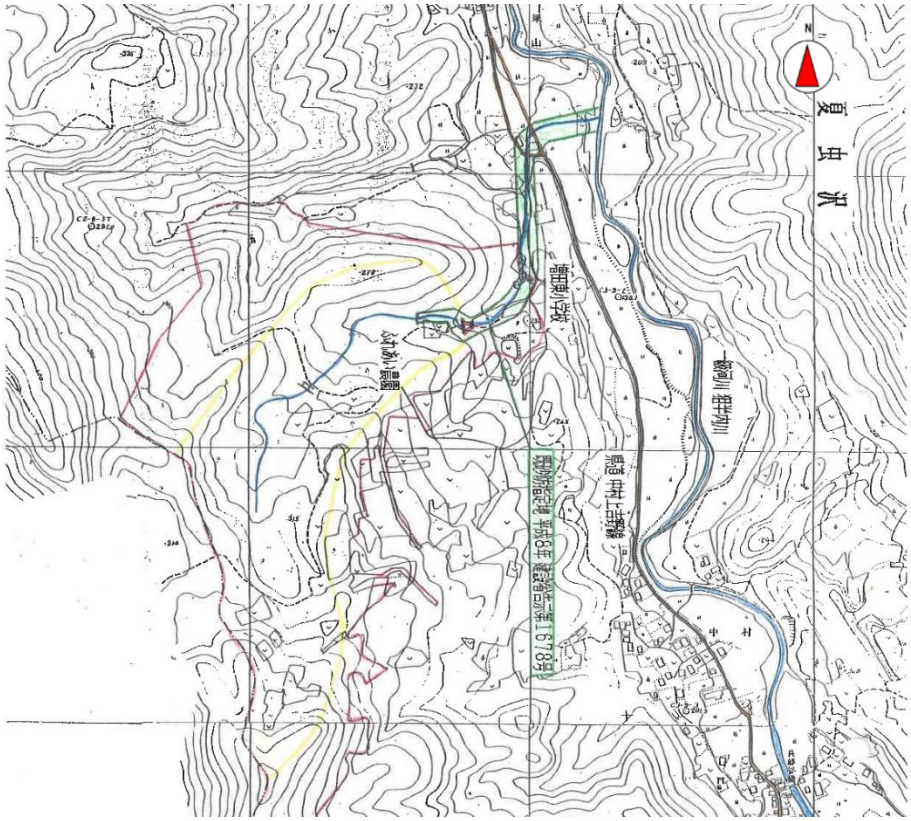
出典：秋田県土砂災害危険個所マップ　http://sabomap.pref.akita.lg.jp

図 2-8　地すべり　警戒区域



出典：秋田県土砂災害危険個所マップ　http://sabomap.pref.akita.lg.jp

図 2-9　土石流危険渓流（流域、氾濫域）



出典：秋田県資料

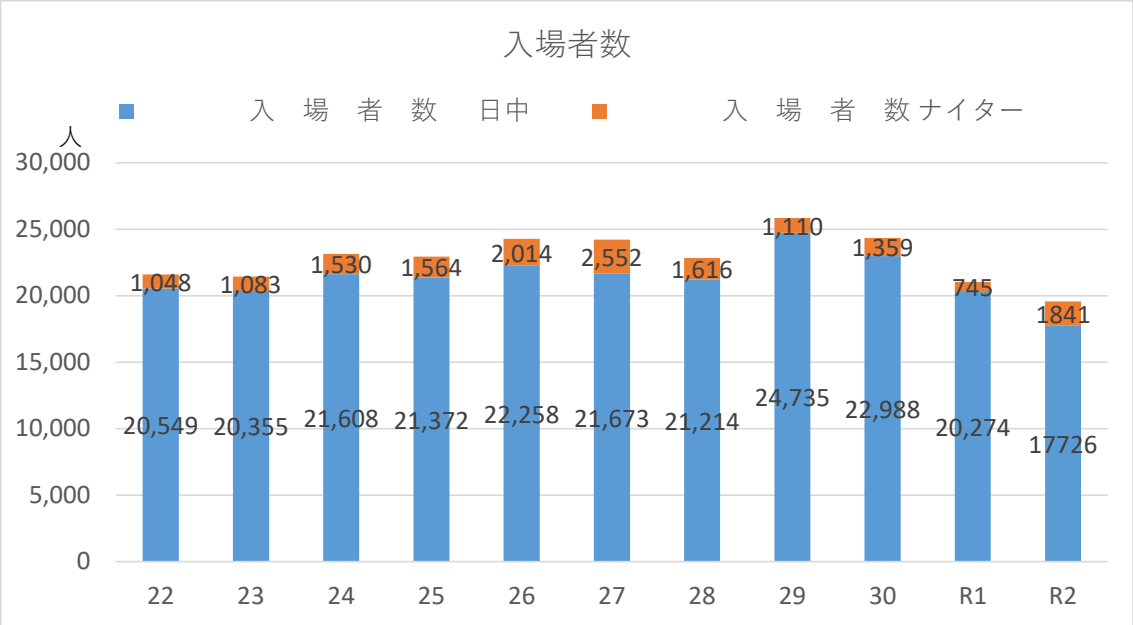
図 2-10　砂防指定区域

（3）利用実態

①利用者数

→年間約2万人以上の利用がある。コロナ禍でも大きな減少なし。

過去 10 年間の入場者数をみると、コロナ禍の影響によるH31 年度シーズンを含んでも例年２万人以上の利用者があり、一定数の利用客が見込まれる。

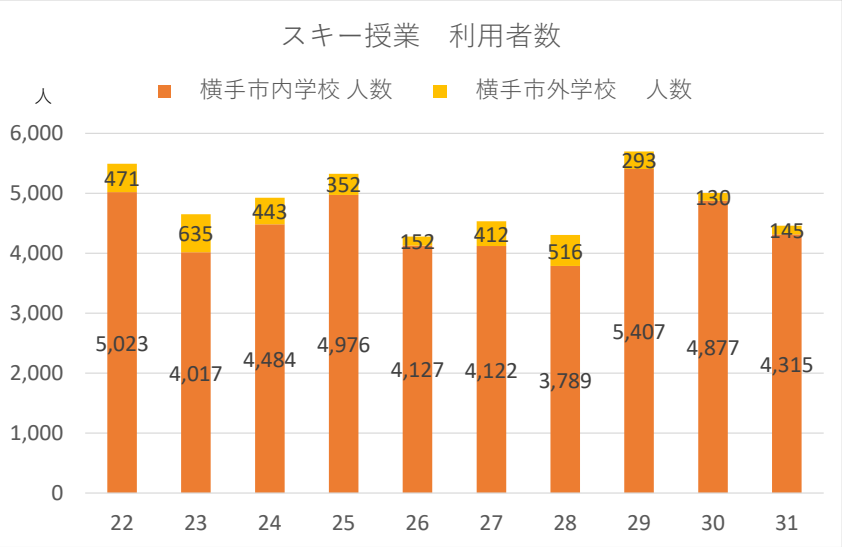


資料：横手市資料

図 2-11　天下森スキー場の利用者数の推移

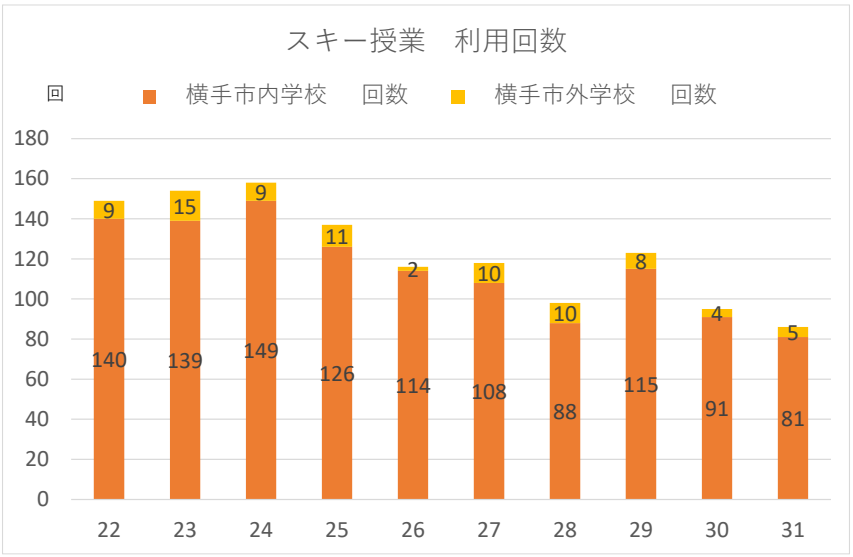
→スキー授業は、市内が中心であり、回数は減少しているが、4千人以上の利用。

市内及び近隣市町村の小中学校スキー授業の受入れについては、年間 150 回程度をピークに年々減少しているが、市内小中学校統合による影響も一因と思われる。しかし、現在も 100 回近くの利用がある。これらは、特定の日に集中してスキー授業が行われることもたびたびあり、120 人収容の休憩室では、昼食や休憩のための調整（時間配分）に難航している状態にある。



資料：横手市資料

図 2-12　天下森スキー場スキー授業（利用者数）



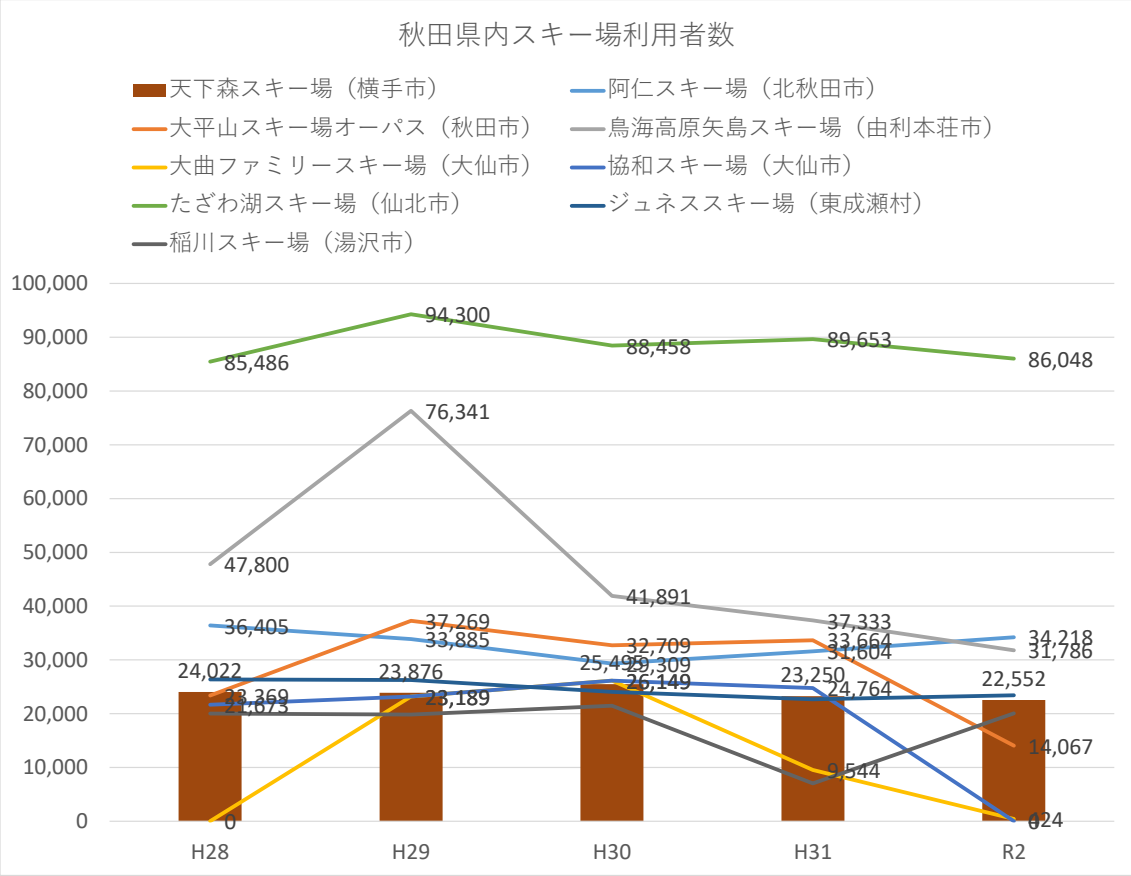
資料：横手市資料

図 2-13　天下森スキー場スキー授業（回数）

→秋田県内スキー場の利用者はほぼ一定。新型コロナ禍でもニーズは一定。

秋田県内のスキー場利用者数をみると、鳥海高原矢島スキー場を除いては、概ね同程度の利用者数で推移している。

新型コロナウイルスの影響は、協和スキー場、大平山スキー場オーパス、大曲ファミリースキー場を除いては少ない。



資料：秋田県観光統計、湯沢市資料

図 2-14　秋田県内スキー場の利用者数の推移

② 利用者の意見

令和２年度内に利用者から寄せられたアンケートから、ニーズを探る。

→加えてほしいメニュー：そば、増田の料理。

→秋田県南の身近なスキー場として続けてほしい。ヒュッテが狭い。

１)加えてほしいメニュー

① （加えてほしいメニューは）三平そばまだ食べたことがないので、食べてみたい。（30 歳代女性。R3.1.9）

② （加えてほしいメニューは）増田の有名な料理（10 歳代男性.R2.3.7）

③ （加えてほしいメニューは）コーヒー。とろろそば、きつねそば、かき揚げそば、月見そばトッピング増。（60 歳代男性。R2.1.16）

④ （加えてほしいメニューは）おにぎり（10 歳代男性。R2.1.13）

２)自由意見

① 今年はコロナでスキー場も大変だと思います。さらに、大雪もあり、スキー、スノボ客が減ってしまわないか心配です。県南からスキー場が無くなってしまうのではないか不安なので、何かお客さんを増やす策で、永くずっと続けていただきたいです。（30 歳代女性。R3.1.9）

② 音楽たまに演歌流してほしい。（70 歳代男性。R2.2.20）

③ 横手市にはここにしかないのでありがたいです。（40 歳代男性。R2.2.1）

④ アレルギーの件で問い合わせした際に、とても親切にしていただきありがとうございました。８年間なんとなく肩身の狭い思いをしてきたので、とてもありがたく感激しました。（40 歳代女性。R2.1.26）

⑤ アンケート用紙入れ箱に入れづらいので、穴を大きくする。テレビは常に ON にしてもらいたい。トイレの手洗い水が冷たい。（60 歳代男性。R2.1.16）

⑥ シルバー料金と木曜シルバーデーは良いアイデアだと思います。（60 歳代男性。R2.1.16）

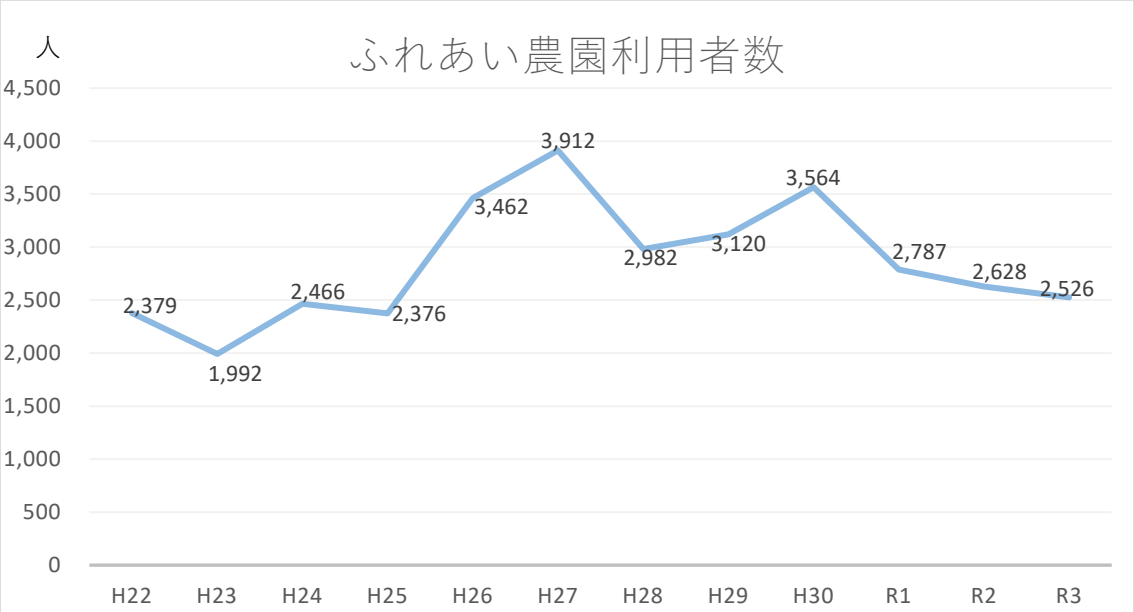
⑦ もう少し雪を柔らかくしてほしい。（10 歳代男性。R2.1.13）

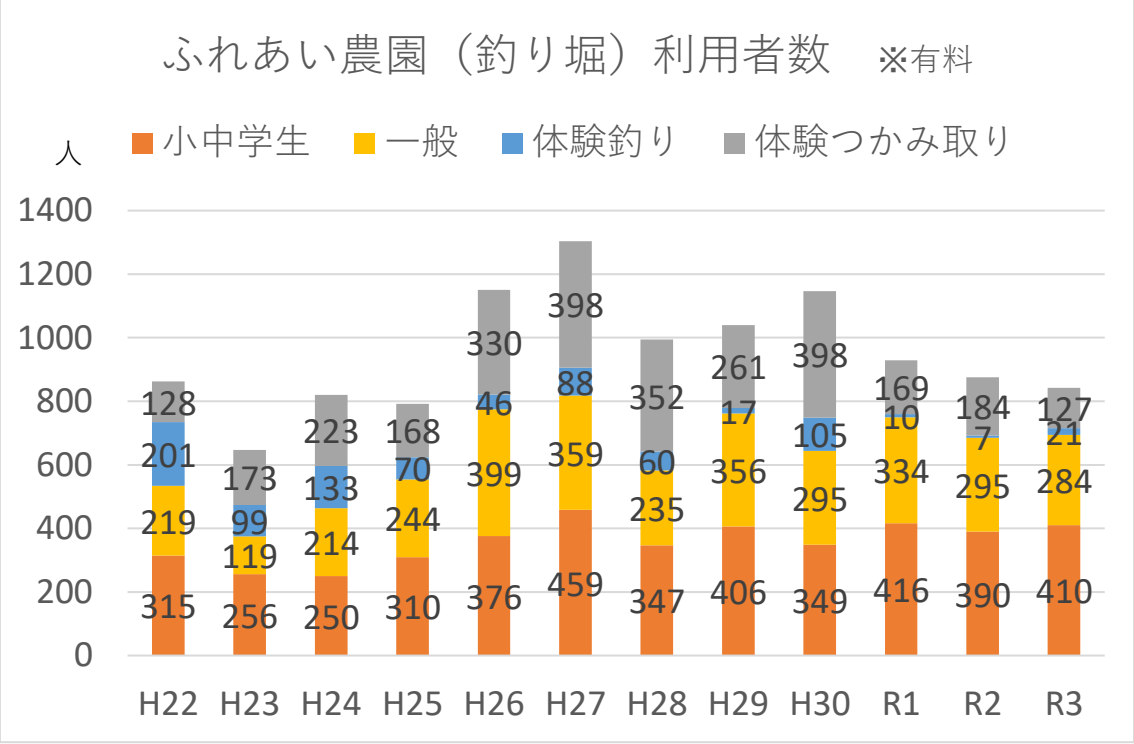
⑧ 食堂のテーブルにお茶道具（ポット、かご）を置いてたり、ブーツケース、帽子等を置いて、人が居ないのに場所取りみたいにしている人が居て、食事したいのに座りたい場所がなくて不愉快でした。（50 歳代男性。R2.1.11）

⑨ ストーブ近くのテーブルや席に荷物を置いて確保している 50 代の男女がいた。他のお客さんは当たり前のように別の席を探していたがおかしいのでは？いつもこのようなことをしているのか？じょうしきなさすぎ、ここは狭んだから何とかして。（20 歳代女性。R1.1.3）

③　ふれあい農園利用者数

→年間 2,500 人以上が利用。うち釣り堀は 800 人以上の利用、小中学生が半数。
一般利用は3割。





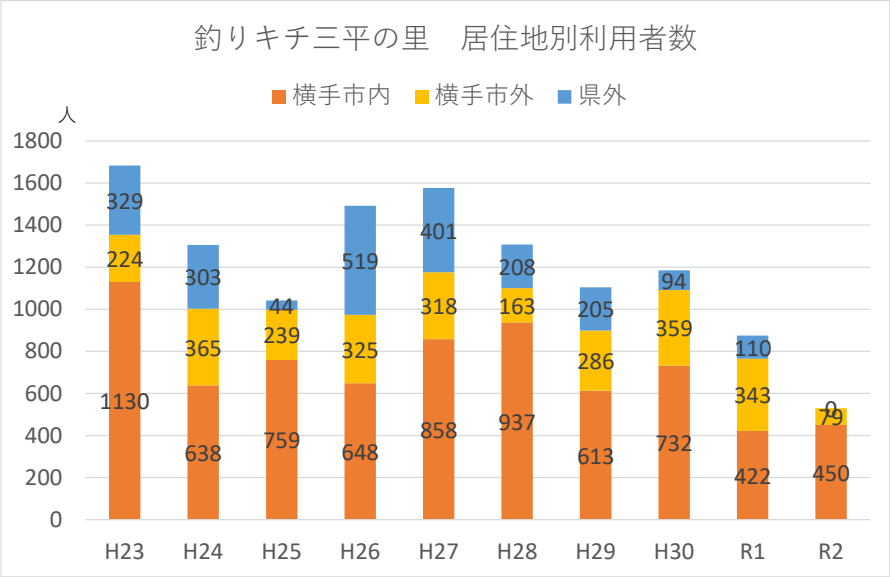
資料：横手市資料

図 2-15　ふれあい農園利用者数の推移

④　釣りキチ三平の里体験学習館

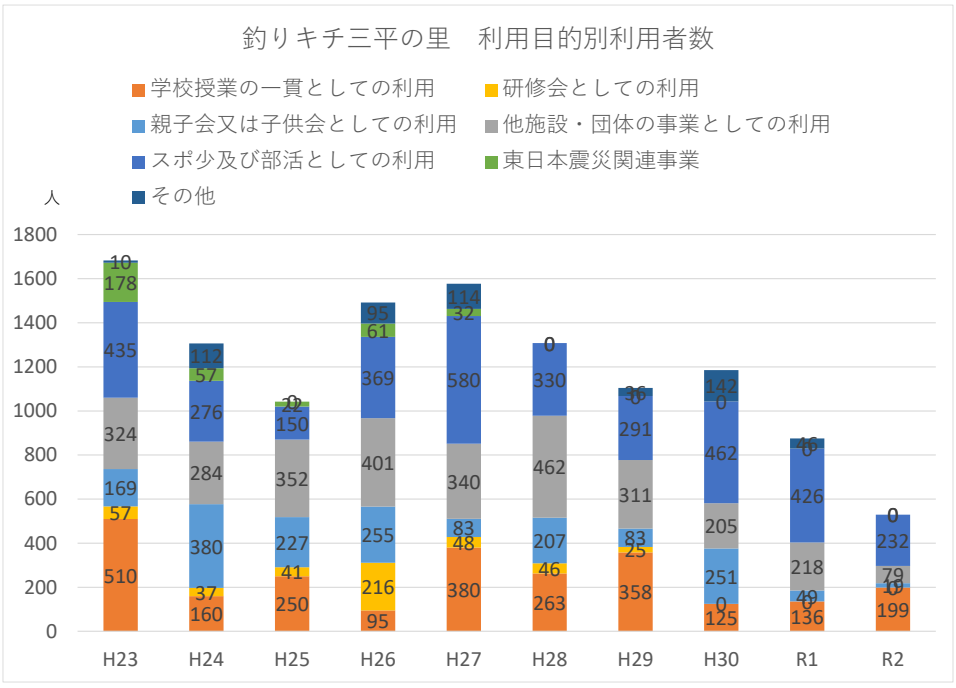
→利用者数は減少傾向にある。令和元年度までは、横手市外からの利用も多くみられていたものの、現在は、横手市民の利用が主体となっている。

→利用目的は、学校の校外活動やスポ少等の部活動での利用が主体。



資料：横手市資料

図 2-16　釣りキチ三平の里　居住地別利用者数



資料：横手市資料

図 2-17　釣りキチ三平の里　利用目的別利用者数

（4）周辺施設状況

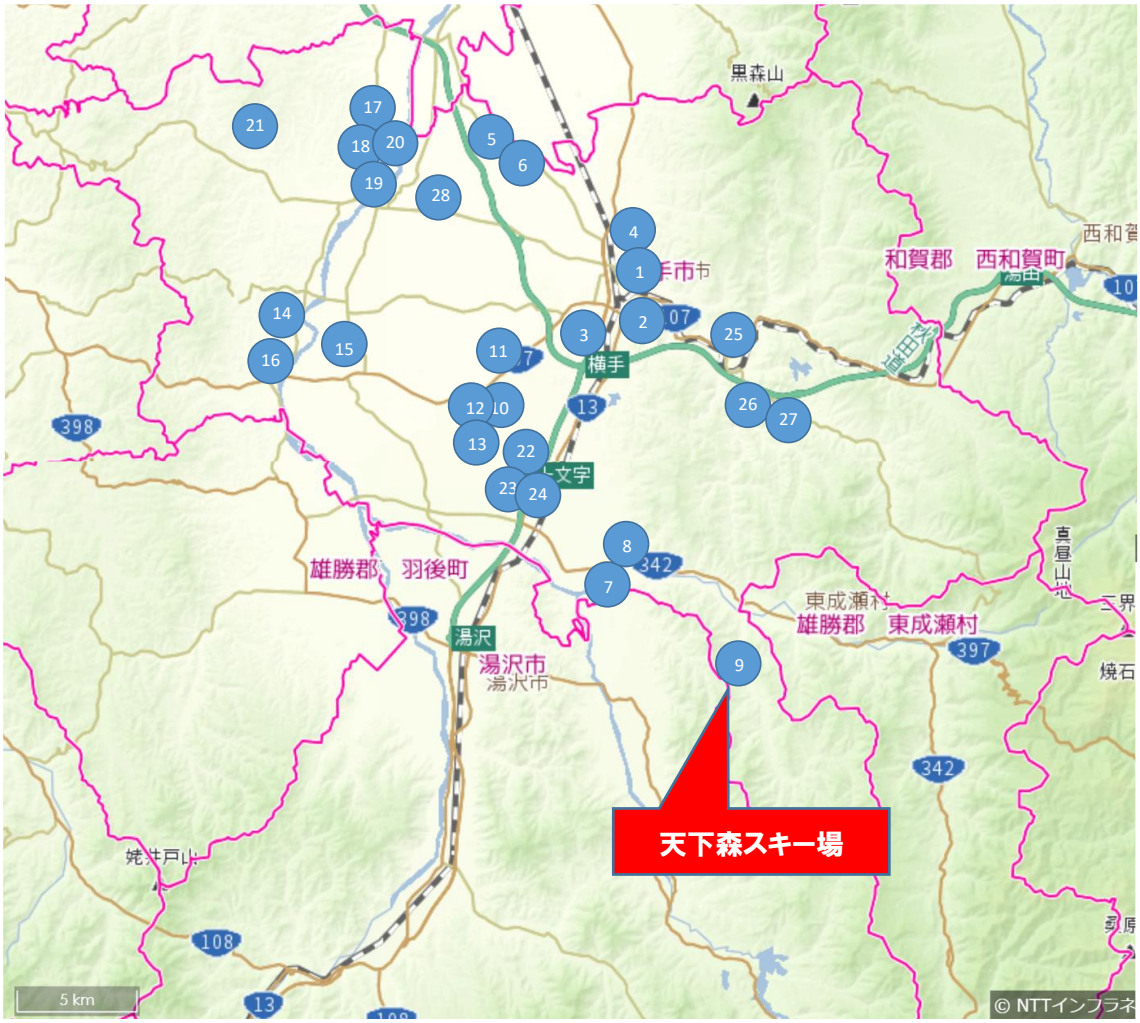
①　横手市内大規模公園等施設

→大規模な公園から、離れた地域に所在。

NO	施設名	NO	施設名
①	横手公園（横手）	⑪	大森公園（大森）
②	大鳥公園（横手）	⑫	梨木公園（十文字）
③	平安の風わたる公園（横手）	⑬	相野々ダム公園　「やまばと山荘」
④	金沢公園（横手）	⑭	相野々ダム公園（山内）
⑤	真人公園（増田）	⑮	大松川ダム公園（山内）
⑥	上畑ふるさと公園（増田）	⑯	鶴ヶ池公園（山内）
⑦	浅舞公園（平鹿）		
⑧	白藤清水自然公園（平鹿）		
⑨	雄物川河川公園（雄物川）		
⑩	雄物川中央公園（雄物川）		

② 横手市内屋外スポーツ施設

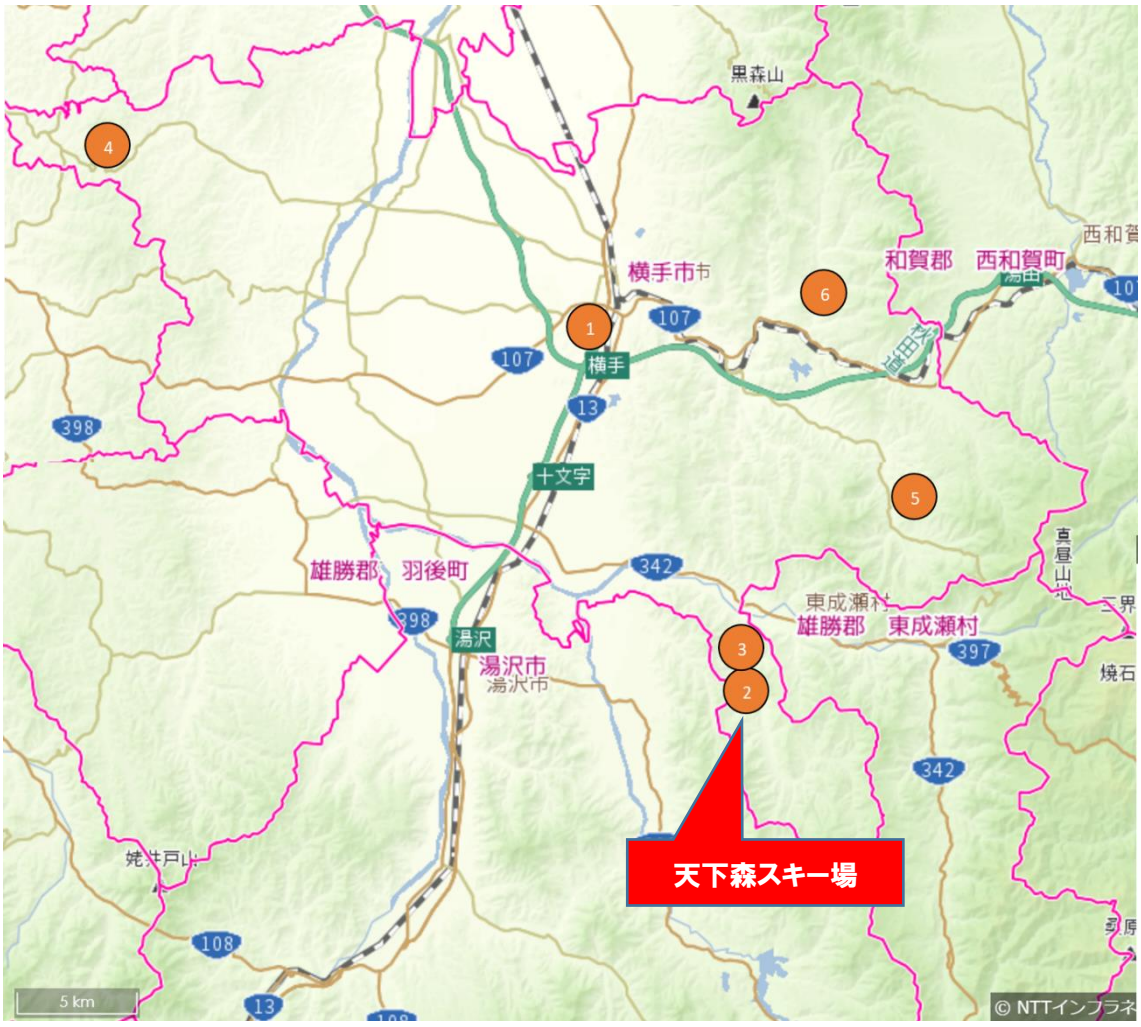
→ 天下森スキー場周辺に屋外スポーツ施設はない。横手市として唯一のスキー場。



NO	施設名	NO	施設名	NO	施設名
①	横手公園運動広場	⑪	吉田多目的運動広場	㉑	大森前田運動場
②	記念公園運動広場	⑫	平鹿相撲場	㉒	十文字野球場
③	赤坂総合公園グリーンスタジアムよこて、運動広場、グランド・ゴルフ場	⑬	浅舞陸上競技場	㉓	十文字陸上競技場
④	大鳥公園運動広場・テニスコート	⑭	雄物川陸上競技場	㉔	十文字テニスコート
⑤	黒川グランドゴルフ場	⑮	雄物川テニスコート	㉔	十文字相撲場
⑥	西地区野球場	⑯	沼館野球場	㉕	山内テニスコート
⑦	増田野球場	⑰	大森野球場	㉖	山内野球場
⑧	増田町ニュースポーツ広場	⑱	大森野球場	㉗	山内陸上競技場
⑨	天下森スキー場	⑲	大森グラウンド・ゴルフ場	㉘	大雄運動公園（スタジアム大雄、ゲートボール場、子供広場）
⑩	平鹿野球場/十五野公園野球場	⑳	大森テニスコート		

③観光施設（自然体験）

→自然体験可能な観光施設として類似施設はない。



NO	施設名
①	秋田ふるさと村
②	天下森ふれあい農園
③	「釣りキチ三平の里」体験学習館
④	保呂羽山少年自然の家
⑤	山内のわらび園
⑥	大松川ダム公園キャンプ場

（5）社会的ニーズ

①余暇活動ニーズ

余暇活動の現状や産業・市場の動向をアンケート調査結果から報告する「レジャー白書」によると、2019 年の傾向として、以下の事項があげられる。

→余暇活動の潜在需要:「バーベキュー」「ピクニック、ハイキング、野外散歩」「オートキャンプ」などが高い。

→北東北地域では、温浴施設、ペット（遊ぶ、世話する）、読書などの参加率が、全国平均より高い。

図表1-14　余暇活動の潜在需要（希望率－参加率）　上位10種目（2019年）

(%)

性・年代	回答数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体	3,539	海外旅行 24.3	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 18.5	クルージング（客船による） 15.3	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 12.7	バーベキュー 11.5	ピクニック、ハイキング、野外散歩 11.2	催し物、博覧会 10.0	オートキャンプ 8.9	動物園、植物園、水族館、博物館 8.9	観劇（テレビは除く） 8.6
男性											
男性計	1,763	海外旅行 21.2	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 14.8	クルージング（客船による） 12.1	バーベキュー 11.5	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 10.0	オートキャンプ 9.9	ピクニック、ハイキング、野外散歩 9.0	登山 6.9	催し物、博覧会 6.3	釣り 6.2
10代	102	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 25.5	海外旅行 22.5	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 20.6	バーベキュー 18.7	クルージング（客船による） 17.6	オートキャンプ 16.7	ドライブ 16.6	ピクニック、ハイキング、野外散歩 15.7	スキンダイビング、スキューバダイビング 14.7	ペット（遊ぶ・世話する） 14.7
20代	206	海外旅行 18.4	オートキャンプ 13.6	バーベキュー 12.6	登山 12.6	遊園地 11.6	スノーボード 10.7	クルージング（客船による） 10.6	音楽会、コンサートなど 9.7	スキー 8.7	動物園、植物園、水族館、博物館 8.7
30代	253	海外旅行 25.7	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 14.6	オートキャンプ 11.9	バーベキュー 11.9	海水浴 10.7	クルージング（客船による） 9.9	登山 9.5	遊園地 9.1	ピクニック、ハイキング、野外散歩 8.7	催し物、博覧会 8.3
40代	329	海外旅行 24.9	バーベキュー 14.6	ピクニック、ハイキング、野外散歩 14.6	クルージング（客船による） 13.7	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 12.4	オートキャンプ 12.1	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 11.6	登山 9.7	日曜大工 8.8	海水浴 8.2
50代	302	海外旅行 25.2	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 19.2	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 13.5	クルージング（客船による） 13.2	バーベキュー 11.2	ピクニック、ハイキング、野外散歩 9.9	オートキャンプ 9.2	動物園、植物園、水族館、博物館 8.6	催し物、博覧会 7.6	トレーニング 7.6
60代	298	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 16.1	海外旅行 15.4	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 13.1	クルージング（客船による） 9.7	バーベキュー 9.4	釣り 8.0	陶芸 7.1	模型づくり 7.1	オートキャンプ 6.7	催し物、博覧会 6.4
70代	273	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 17.2	海外旅行 15.8	クルージング（客船による） 12.4	陶芸 7.7	釣り 7.3	観劇（テレビは除く） 7.3	バーベキュー 6.6	農園（市民農園など） 6.6	ピクニック、ハイキング、野外散歩 6.2	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 5.9
女性											
女性計	1,776	海外旅行 27.5	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 22.3	クルージング（客船による） 18.5	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 15.5	ヨガ、ピラティス 14.3	催し物、博覧会 14.0	ピクニック、ハイキング、野外散歩 13.4	観劇（テレビは除く） 12.9	動物園、植物園、水族館、博物館 12.3	遊園地 12.3
10代	98	海外旅行 40.8	バーベキュー 32.7	エステティック、ホームエステ 28.6	遊園地 27.5	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 25.5	クルージング（客船による） 24.5	ドライブ 24.5	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 19.4	複合ショッピングセンター、アウトレットモール 19.4	海水浴 17.4
20代	201	海外旅行 28.4	ピクニック、ハイキング、野外散歩 25.4	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 23.9	エステティック、ホームエステ 22.9	遊園地 22.3	バーベキュー 21.9	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 19.9	海水浴 19.4	クルージング（客船による） 18.9	観劇（テレビは除く） 16.5
30代	245	海外旅行 33.4	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 26.5	遊園地 26.2	ヨガ、ピラティス 23.3	クルージング（客船による） 22.5	催し物、博覧会 20.8	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 20.0	バーベキュー 20.0	エステティック、ホームエステ 18.8	ピクニック、ハイキング、野外散歩 18.4
40代	322	海外旅行 30.7	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 22.7	クルージング（客船による） 19.0	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 18.3	ピクニック、ハイキング、野外散歩 18.3	ヨガ、ピラティス 18.1	エステティック、ホームエステ 16.4	遊園地 16.1	催し物、博覧会 15.8	観劇（テレビは除く） 13.4
50代	294	海外旅行 25.5	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 22.8	ヨガ、ピラティス 19.4	動物園、植物園、水族館、博物館 16.3	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 15.9	観劇（テレビは除く） 15.4	クルージング（客船による） 14.6	ピクニック、ハイキング、野外散歩 13.2	催し物、博覧会 12.9	陶芸 12.6
60代	309	海外旅行 27.5	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 22.3	クルージング（客船による） 20.1	催し物、博覧会 16.5	音楽会、コンサートなど 12.6	観劇（テレビは除く） 12.6	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 11.3	動物園、植物園、水族館、博物館 11.0	美術鑑賞（テレビは除く） 9.4	演芸鑑賞（テレビは除く） 9.4
70代	307	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など） 18.9	海外旅行 15.9	クルージング（客船による） 14.7	観劇（テレビは除く） 8.5	催し物、博覧会 6.2	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等） 5.6	動物園、植物園、水族館、博物館 5.6	麻雀 5.2	ヨガ、ピラティス 4.9	水泳（プールでの） 4.9

（注1）同率の場合は枠線を外して示す。

2020 レジャー白書　公益財団法人　日本生産性本部

図表1-29　居住地域別参加率（2019年）

（%）

（ホ）その他部門		全国	北海道	北東北	南東北	北関東	東京	千葉	埼玉	神奈川	北陸	長野・山梨	新潟	静岡	愛知	岐阜	滋賀・京都	三重・奈良・和歌山	大阪	兵庫	中国	四国	福岡	長崎・佐賀・熊本	大分・宮崎・鹿児島	沖縄
	回答者数	3,539	170	134	127	203	352	175	173	245	95	83	75	93	230	50	84	96	257	158	215	126	195	92	89	22
1	バーベキュー	19.0	31.8	17.9	15.0	17.2	12.8	15.4	12.7	12.2	26.3	21.7	20.0	21.5	20.4	30.0	22.6	18.8	20.6	20.9	24.2	24.6	19.0	14.1	22.5	9.1
2	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等）	29.5	35.9	35.8	29.9	28.6	27.0	26.9	23.1	26.1	32.6	33.7	38.7	37.6	30.0	38.0	27.4	27.1	28.4	31.6	26.5	27.0	29.7	26.1	38.2	18.2
3	複合ショッピングセンター、アウトレットモール	35.7	35.3	27.6	36.2	41.4	32.1	37.1	38.2	33.1	45.3	34.9	36.0	39.8	40.0	44.0	27.4	41.7	31.5	36.7	36.3	33.3	37.9	28.3	39.3	27.3
4	クルージング（客船による）	1.7	1.2	0.7	0.8	2.5	3.4	3.4	1.7	2.0	2.1	2.4	1.3	1.1	1.3	4.0	3.6	1.0	1.2	0.6	0.9	0.8	0.0	1.1	3.4	0.0
5	エステティック、ホームエステ	4.3	5.9	2.2	2.4	2.0	6.0	2.3	4.6	5.3	5.3	7.2	2.7	7.5	4.3	4.0	4.8	4.2	5.1	1.3	4.2	4.8	3.1	4.3	4.5	4.5
6	ペット（遊ぶ・世話する）	17.2	17.6	20.9	19.7	23.2	10.8	20.6	20.2	15.5	16.8	19.3	14.7	24.7	17.0	12.0	8.3	19.8	14.8	15.2	11.6	27.8	20.0	19.6	13.5	22.7
7	農園（市民農園など）	3.5	4.7	3.7	3.9	3.0	2.8	3.4	4.6	1.6	5.3	10.8	9.3	5.4	2.2	6.0	1.2	3.1	1.9	1.3	2.8	6.3	4.1	2.2	2.2	0.0
8	ファッション（楽しみとしての）	17.3	17.6	14.9	18.1	17.7	19.3	15.4	15.0	15.1	12.6	14.5	17.3	10.8	18.7	12.0	19.0	16.7	18.3	20.3	17.7	16.7	22.6	14.1	20.2	13.6
9	ボランティア活動	9.0	14.7	9.7	5.5	7.9	7.7	4.0	8.7	10.6	9.5	13.3	6.7	9.7	9.1	12.0	10.7	10.4	6.2	10.8	11.6	8.7	7.7	7.6	12.4	9.1
10	フットサル	1.4	0.6	1.5	0.0	0.0	2.0	0.6	4.0	3.3	0.0	1.2	4.0	2.2	1.7	0.0	3.6	1.0	0.8	0.6	0.5	2.4	0.5	0.0	1.1	0.0
11	ウォーキング	32.4	32.9	31.3	31.5	41.4	30.7	28.6	33.5	30.6	35.8	37.3	30.7	33.3	28.3	26.0	32.1	31.3	32.7	32.9	36.3	27.0	36.9	28.3	30.3	36.4
12	パークゴルフ・グラウンドゴルフなどの簡易ゴルフ	1.7	8.2	4.5	3.1	1.0	0.9	1.1	1.7	0.4	4.2	0.0	1.3	0.0	2.2	2.0	2.4	0.0	1.2	1.3	0.9	1.6	1.0	1.1	0.0	0.0
13	カヌー、ラフティング	0.9	2.4	0.0	0.8	1.0	0.6	1.1	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	0.0	1.6	0.6	0.9	2.4	0.5	1.1	1.1	0.0
14	SNS、ツイッターなどのデジタルコミュニケーション	25.9	29.4	25.4	26.0	24.6	28.7	26.9	28.9	24.9	27.4	22.9	20.0	21.5	33.0	26.0	29.8	25.0	27.6	25.3	19.5	20.6	25.6	20.7	21.3	31.8
15	ソーシャルゲームなどのオンラインゲーム	13.4	9.4	17.9	21.3	15.3	11.9	16.0	16.2	14.3	12.6	10.8	10.7	10.8	12.6	20.0	17.9	6.3	14.4	10.8	10.7	14.3	11.3	12.0	12.4	22.7
16	読書（仕事、勉強などを除く娯楽としての）	41.3	51.2	44.8	41.7	38.4	46.3	38.3	48.0	46.5	37.9	44.6	40.0	38.7	38.3	44.0	40.5	36.5	37.0	43.0	38.6	38.1	40.0	35.9	34.8	18.2
17	ウィンドウショッピング（見て歩きなど娯楽としての）	29.3	29.4	23.9	31.5	35.5	31.0	28.0	31.2	29.0	32.6	27.7	22.7	36.6	32.2	34.0	27.4	29.2	29.2	31.0	25.1	25.4	27.7	20.7	27.0	27.3
18	ヨガ、ピラティス	6.1	6.5	2.2	5.5	6.9	7.7	8.0	6.4	6.9	5.3	9.6	8.0	6.5	5.7	4.0	6.0	5.2	8.6	7.0	4.2	3.2	4.6	2.2	4.5	0.0

（注１）各地域に居住する回答者のうち、個々の余暇活動を１年間に１回以上おこなった人の割合を示す。
（注２）各地域を構成する県は次のとおりである。北東北（青森、秋田、岩手、山形）、南東北（宮城、福島）、北関東（群馬、茨城、栃木）、北陸（富山、石川、福井）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、四国（徳島、香川、愛媛、高知）。

2020 レジャー白書　公益財団法人　日本生産性本部

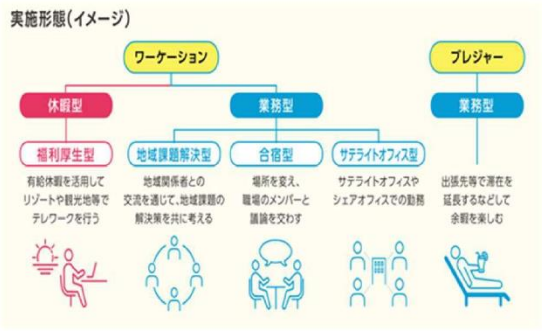
②コロナ収束後の国内旅行へのニーズ

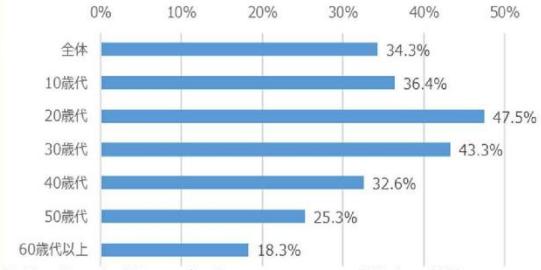
観光に関する現状と今後の施策を取りまとめた「令和２年度観光の状況令和３年度観光施策　第 204 回国会提出」によると、以下のような傾向がみられる。

→ワーケーション、オートキャンプ、アウトドアニーズの高まり。

→国内旅行は「オフシーズン、近場、自家用車」。

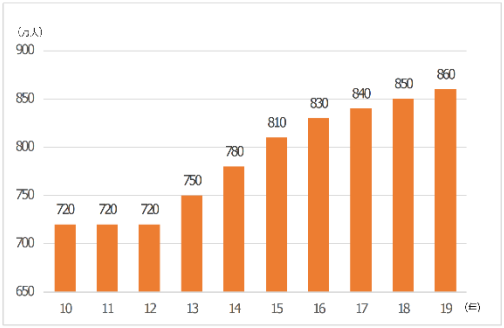
図表Ⅱ-37　年代別のワーケーションの実施希望





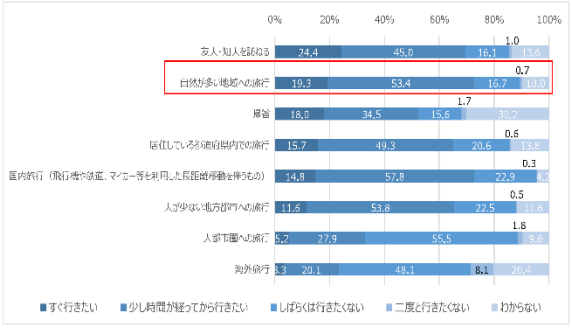
資料：内閣府「第２回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

図表Ⅱ-38　オートキャンプ参加人数の推移（推定値）



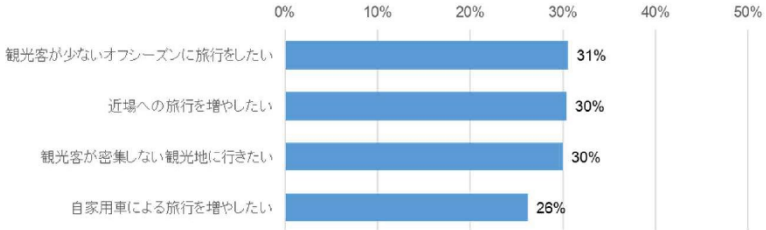
資料：（一社）日本オートキャンプ協会「オートキャンプ白書 2020」

図表Ⅱ-39　意識調査　渡航や外出自粛が緩和された場合、どんな旅行にいつ頃行きたいか（単一回答）



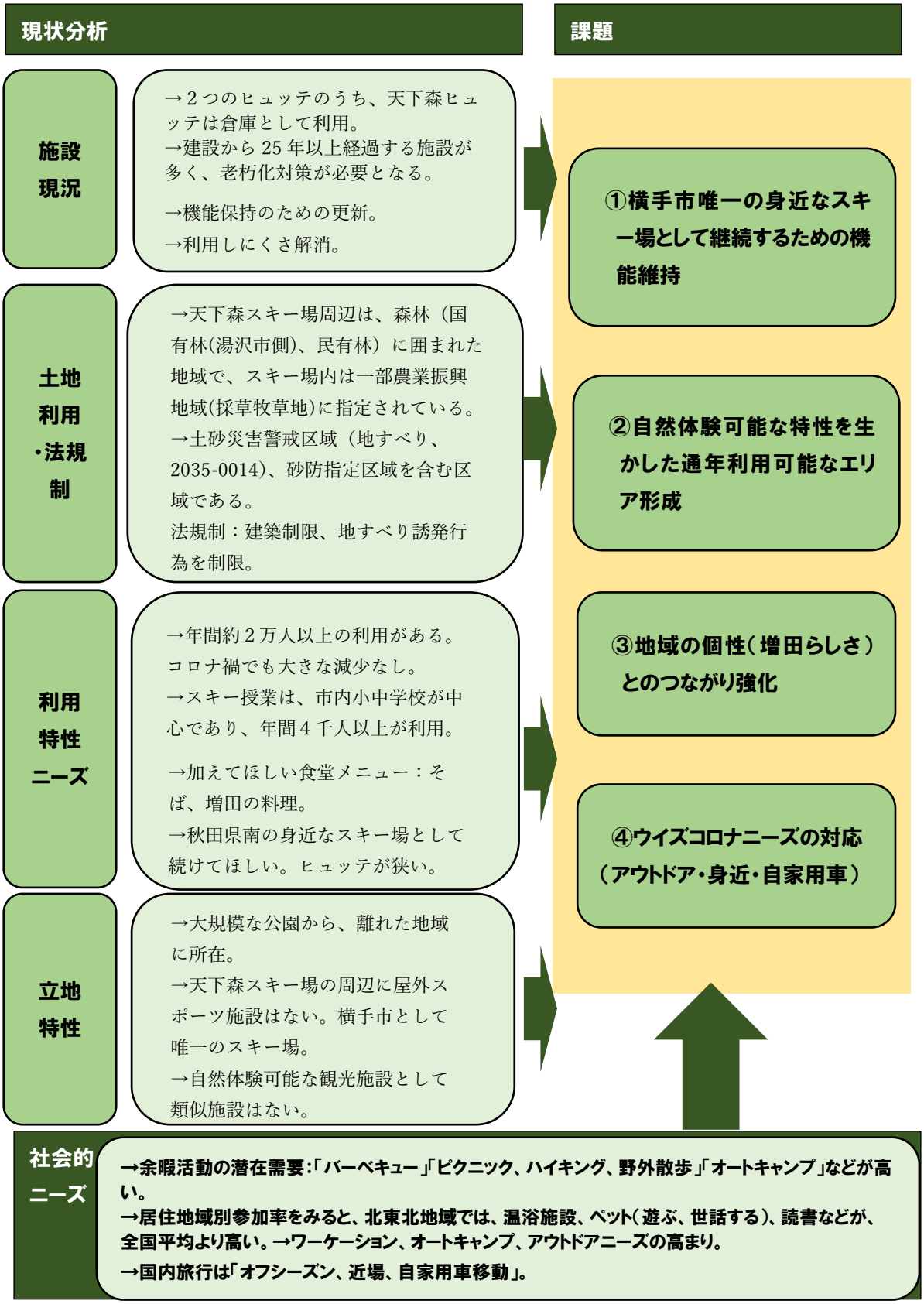
資料：JTB・JTB 総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化及び旅行再開に向けての意識調査 2020」（2020 年５月）

図表Ⅱ-47　今後の国内旅行についての考え



資料：JTBF「国内旅行市場におけるオピニオンリーダー層の意向調査（2020 年 12 月）」

（6）現状課題のまとめ


現状分析
課題
施設現況
→２つのヒュッテのうち、天下森ヒュッテは倉庫として利用。
→建設から 25 年以上経過する施設が多く、老朽化対策が必要となる。
→機能保持のための更新。
→利用しにくさ解消。
土地利用・法規制
→天下森スキー場周辺は、森林（国有林(湯沢市側)、民有林）に囲まれた地域で、スキー場内は一部農業振興地域(採草牧草地)に指定されている。
→土砂災害警戒区域（地すべり、2035-0014)、砂防指定区域を含む区域である。
法規制：建築制限、地すべり誘発行為を制限。
利用特性ニーズ
→年間約２万人以上の利用がある。コロナ禍でも大きな減少なし。
→スキー授業は、市内小中学校が中心であり、年間４千人以上が利用。
→加えてほしい食堂メニュー：そば、増田の料理。
→秋田県南の身近なスキー場として続けてほしい。ヒュッテが狭い。
立地特性
→大規模な公園から、離れた地域に所在。
→天下森スキー場の周辺に屋外スポーツ施設はない。横手市として唯一のスキー場。
→自然体験可能な観光施設として類似施設はない。
①横手市唯一の身近なスキー場として継続するための機能維持
②自然体験可能な特性を生かした通年利用可能なエリア形成
③地域の個性（増田らしさ）とのつながり強化
④ウイズコロナニーズの対応（アウトドア・身近・自家用車）
社会的ニーズ
→余暇活動の潜在需要:「バーベキュー」「ピクニック、ハイキング、野外散歩」「オートキャンプ」などが高い。
→居住地域別参加率をみると、北東北地域では、温浴施設、ペット（遊ぶ、世話する）、読書などが、全国平均より高い。→ワーケーション、オートキャンプ、アウトドアニーズの高まり。
→国内旅行は「オフシーズン、近場、自家用車移動」。

3.整備全体計画

（1）整備方針

天下森スキー場を含む天下森地域は、周囲を山々に囲まれた豊かな自然環境にあり、市民にとって身近で自然体験が可能な場所となっている。

冬期間は、スキー場の小中学生スキー授業などにより、一定数の利用が見込まれるが、夏期間はスキー場の利用がないこと、ふれあい農園の遊具や東屋、園路の老朽化、アクセス道路の困難さなどから、利用が低迷している。また、スキー場内には、倉庫としての利用に留まるヒュッテや、整備から２５年以上経過し更新が困難となるものもあり、施設の持続性に課題を有している。

新型コロナウイルス感染の脅威が一段落した後のウイズコロナ社会ニーズとして、「アウトドア」「身近」「自家用車移動」などがキーワードとなり、スキー場等が有する資源を有効活用した、魅力向上による集客も期待できる。

横手市唯一のスキー場である特性や、自然豊かな地域らしさを生かし、一年を通じて、誰もが利用可能で身近な屋外レジャー空間を創出するものである。その実現のため、課題解決の２つの方針を策定する。

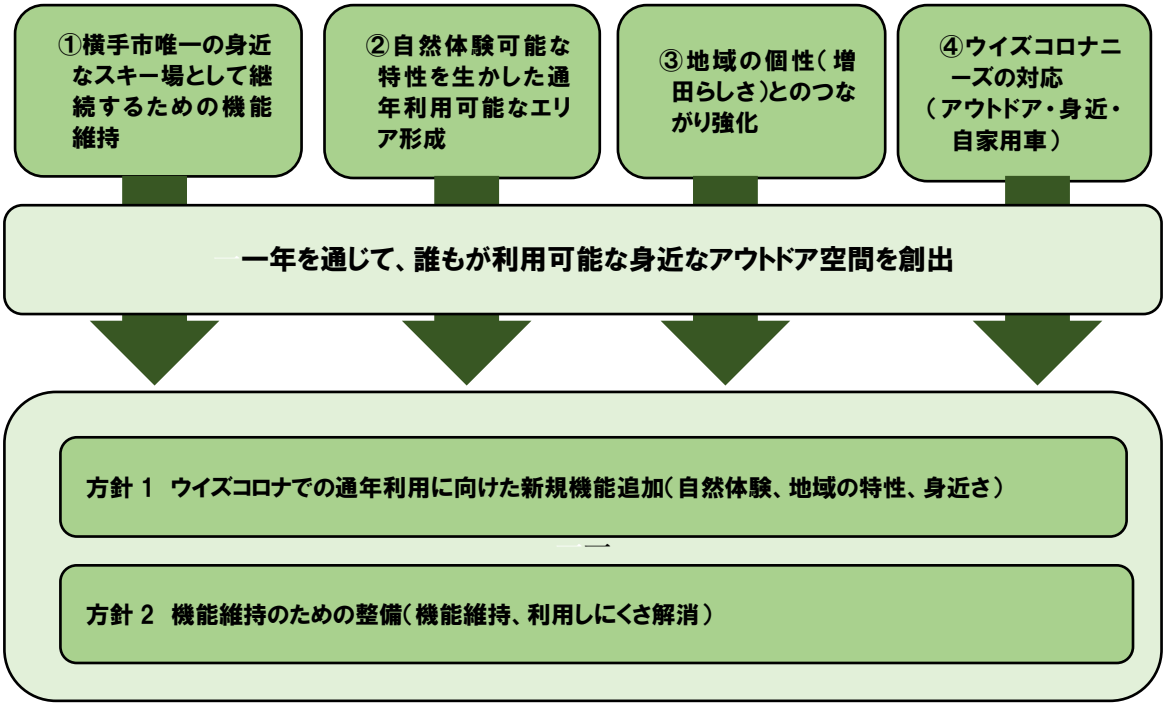


図 3-1　整備方針図

(2)　ゾーンニング・動線分析と計画

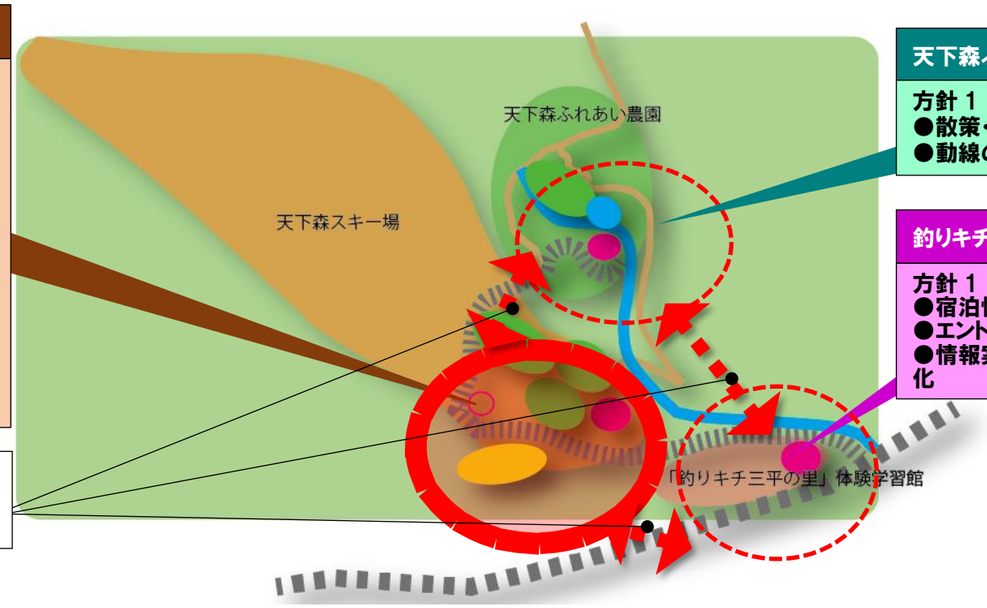
天下森スキー場をコアゾーンに、周囲にある釣りキチ三平の里体験学習館や天下森ふれあい農園の周辺ゾーンとこれらをつなぐ動線の強化により、一体的な空間づくりを目指す。

天下森スキー場

方針１　新規機能追加
- **●夏のアクティビティ（ニュースポーツ体験、UAV 体験、ドッグラン・・・・ 一例）**
- **●ヒュッテからの展望、地域の食、夏季利用強化**
- **●動線、利用のバリアフリー化**

方針２　機能維持
- **●夏虫沢ヒュッテ増改築。天下森ヒュッテの解体。**
- **●ゲレンデ設備（キューピクル、放送、リフト、照明、給水等設備）の更新、改修**

- **●駐車場スペースの確保**
- **●市道縦断変更**
- **●エリアサイン計画（歩行者、車両）**



天下森ふれあい農園

方針１　新規機能追加	方針２　機能維持
●散策・休憩機能強化 ●動線のバリアフリー化	●駐車場整備、老朽施設の撤去

釣りキチ三平の里体験学習館

方針１　新機能追加	方針２　機能維持
●宿泊快適性向上 ●エントランス機能強化 ●情報案内拠点機能強化	●老朽施設等更新

表 3-1　方針1　ウィズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加（自然体験、地域の特性、身近さ）

ゾーン		立地特性	現在の利用	課題	対策の方向性	新たな利用の方向性
天下森スキー場		広大な緑の広場、北向き斜面 林間コース（10度） ゲレンデ7ha、スロープ1400m ナイター照明、放送設備、リフト完備 夏虫沢ヒュッテ（休憩、食事可能）	（主に冬） 冬期の積雪時スキー利用 小中学生のスキー授業 市民のスキー利用	通年利用（夏のアクティビティ） 利用者層の拡大（高齢者、障がい者を含めた）	夏のアクティビティ（ニュースポーツ体験、UAV体験、ドッグラン） ヒュッテからの展望、地域の食、夏季利用強化 動線、利用のバリアフリー化	①芝生広場（ターゲットバードゴルフ等） ②UAV離発着場、ターゲット ③ドッグラン ④ラジコンサーキット場 ⑤ヒュッテ：食機能（そば、発酵食、カフェ） ⑥ヒュッテ：展望、テラス、ｷｯｽﾞｽﾍﾟｰｽ等 ⑦ヒュッテ：バリアフリー・多目的トイレ
周辺施設	「釣りキチ三平の里」体験学習館（狙半内地区交流センター）	宿泊可能施設 工芸体験、そば打ちなど体験可能 体育館利用	（主に夏） 屋外体験プログラム拠点（宿泊拠点として、他ゾーンと連携） 屋内体験プログラム（そば打ち、クラフト、わら細工等）	宿泊快適性向上 他ゾーンとの連携向上	宿泊快適性向上 エントランス機能強化 情報案内拠点機能強化	①利用案内所 ②全体案内板
	天下森ふれあい農園	釣り堀、釣った魚を食することが可能 林の中の散策路 東屋などの休憩施設 キャンプ施設等	（主に夏） 釣り堀の利用 バーベキュー 小中学生の林間コース利用 園路、キャンプ施設の利用低迷	低利用区域の利用拡大 自然体験をメーンとした静的利用空間の創出 利用者層の拡大（高齢者、障がい者を含めた）	散策・休憩機能強化 動線、利用のバリアフリー化	①花木園、花畑（ユリの花） ②バリアフリー園路（車いす利用）
リンク（動線）		**立地特性**	**現在の利用**	**課題**	**対策の方向性**	**新たな利用の方向性**
駐車場、市道、サイン等		駐車場（現況約90台） 市道（最急こう配10%、掘割区間） エリア全体サインなし		駐車場の利便性、拡大 市道縦断線形改良 エリア全体サイン	駐車場スペースの確保 市道縦断変更 エリアサイン計画（歩行者、車両）	①駐車場拡大 ②市道改良 ③全体サイン計画

表 3-2 方針 2 機能維持のための整備（機能維持、利用しにくさ解消）

ゾーン		施設設備	整 備 内 容
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	①スキー授業に対応した席数確保（200人程度） ②スキースクールの利用スペース確保（ヒュッテ内） ③天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み ④水道水確保の検討、受水槽等（天下森ヒュッテ内の受水槽撤去）
		夏虫沢ヒュッテ設備	⑤第二キュービクルの更新（天下森ヒュッテ第一キュービクル）の撤去のため ⑥圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置（グラウンド敷地内）
		夏虫沢ヒュッテ駐車場	⑦圧雪車動線の確保 ⑧駐車場出入口の勾配緩和及び視認性の確保
	天下森ヒュッテ	天下森ヒュッテ建物	①建物解体撤去 ②アスベスト調査 ③解体に伴い収納されている機材格納のため新規格納場所確保（単独かヒュッテ内等検討）
		天下森ヒュッテ設備	④放送設備撤去 ⑤リフト・照明の操作盤撤去 ⑥キュービクルの撤去（ナイター・Tバーリフト・ヒュッテ内） ⑦受水槽の撤去移設
	ゲレンデ	ゲレンデの改修	①山頂リフト昇降床板補修 ②天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸 ③ナイター照明をLED照明へ更新 ④Tバーリフトの撤去 ⑤スキースクール詰所、撤去または、ヒュッテ内取り入れ

ゾーン		施設設備	整 備 内 容
周辺施設	「釣りキチ三平の里」体験学習館（狙半内地区交流センター）	宿泊棟	①各部屋にエアコンの設置（部屋ごと単独） ②受水槽容量不足のため受水槽の拡充 ③スキー場の受水槽からグラウンドまでの給水管整備
		体育館	①外壁の補修リフォーム ②屋上の防水工事 ③宿泊棟と体育館の渡り廊下接合部の防水対策 ④屋外石油タンクの屋根掛け ⑤吊り天井の改修 ⑥体育館のトイレ便器の洋式化
	天下森ふれあい農園		①管理棟の接道横へ草地駐車場の舗装 ②老朽施設となる野外卓・遊具撤去

リンク（動線）	施設設備	整 備 内 容
駐車場、市道、サイン等	接続道路改良	①幅員の確保、（W=6.0m） ②視認性の確保のため線形改良（起点より圧雪車・駐車場設置予定のグラウンド）

（3）整備全体計画（※夏場利用の整備メニューは一例）

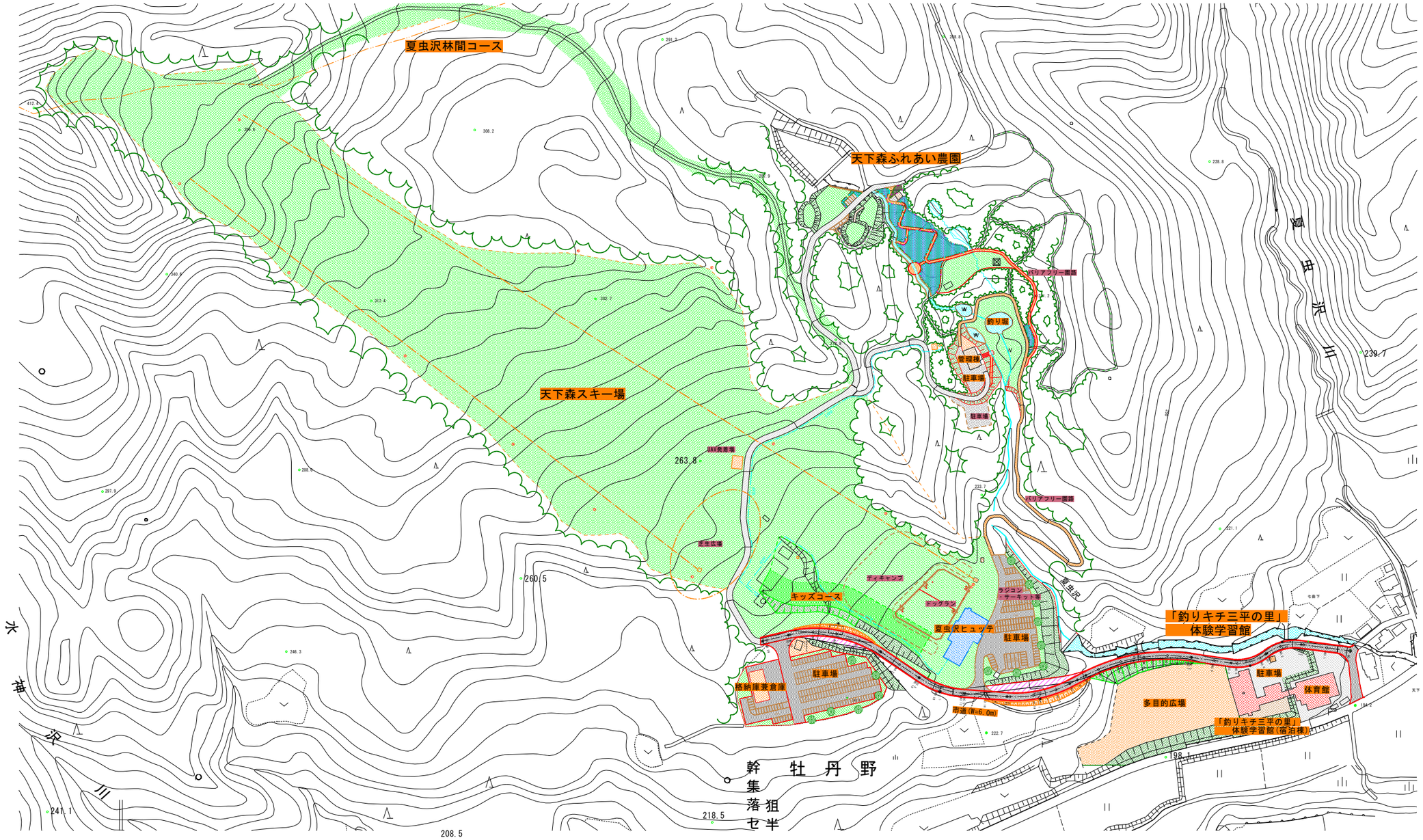


図 3-2　全体整備図

4.個別計画

（1）天下森スキー場　ゾーン（※夏場利用の整備メニューは一例）

天下森スキー場ゾーン　全体計画

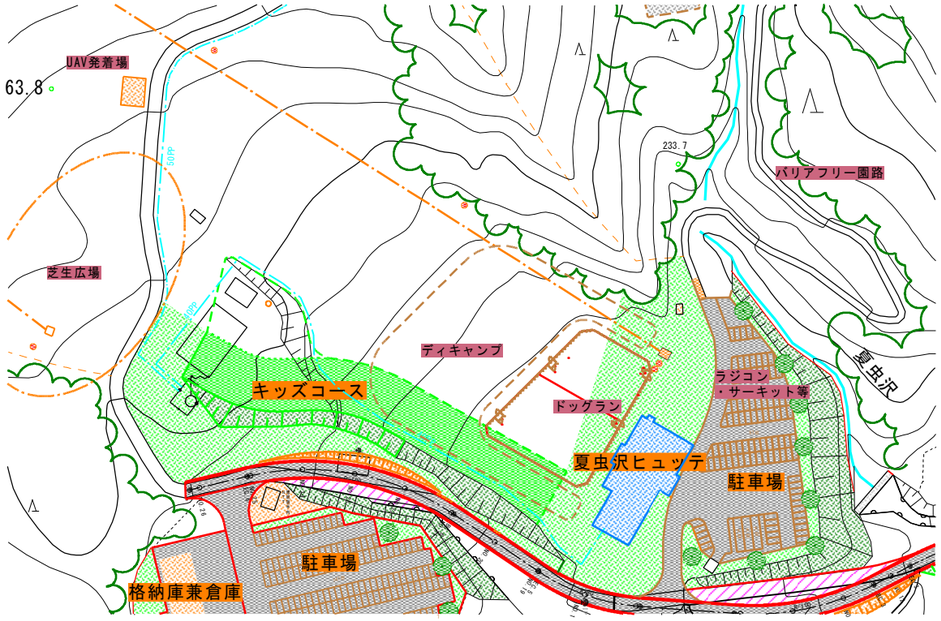


図 4-1-1　天下森スキー場ゾーン　計画図

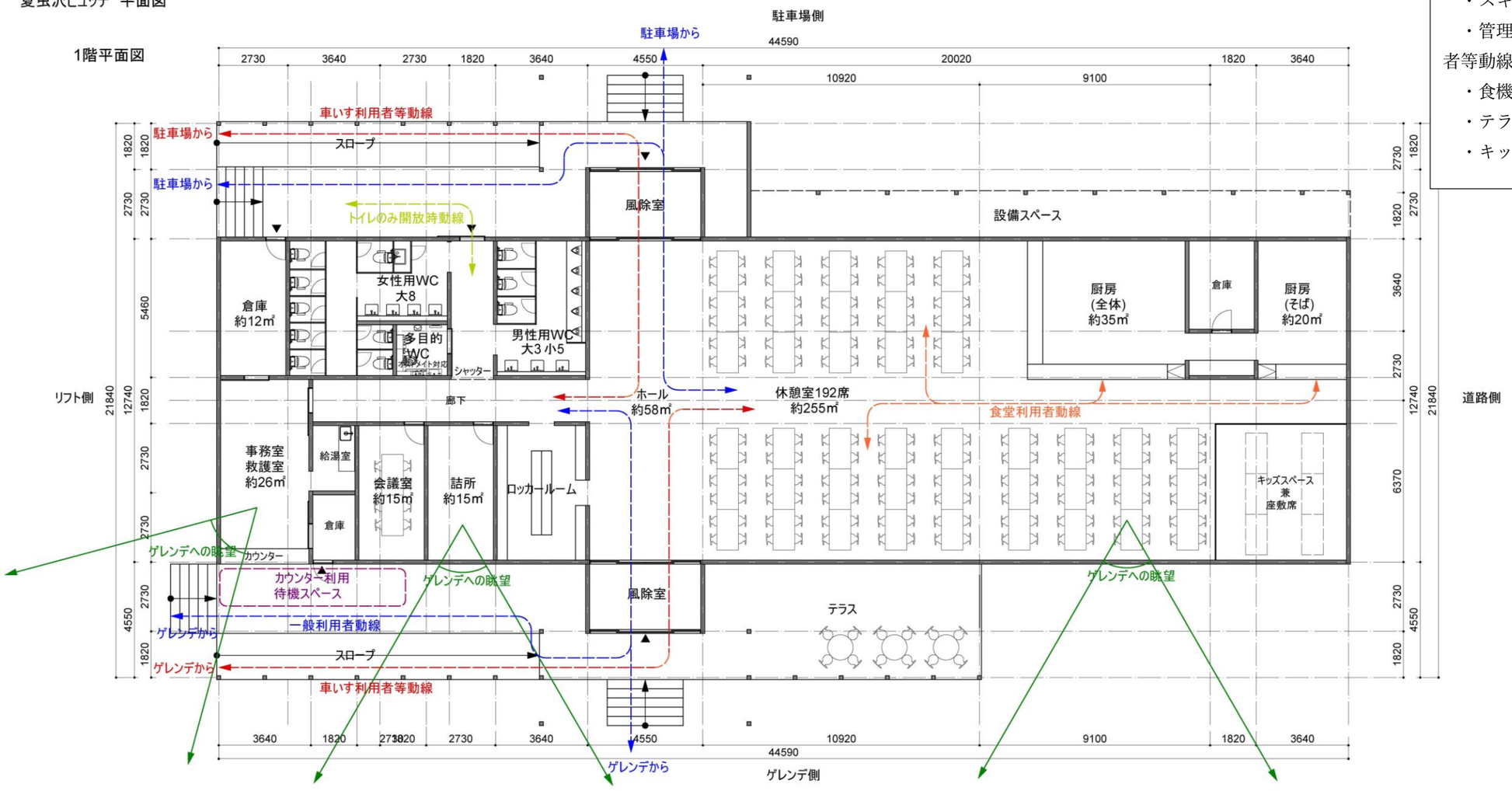
表 4-1-1　天下森スキー場ゾーン整備メニュー

ゾーン		施設設備	方針1　ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加（自然体験、地域の特性、身近さ） 整　備　内　容	方針2　機能維持のための整備（機能維持、利用しにくさ解消） 整　備　内　容
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	1-1　食機能強化（そば、発酵食、カフェ等） 1-2　展望、テラス等 1-3　バリアフリー・多目的トイレ	2-1　スキー授業に対応した席数確保（200人程度） 2-2　スキースクールの利用スペース確保（ヒュッテ内） 2-3　天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み 2-4　既存建物解体撤去 2-5　水道水確保の検討、受水槽等（天下森ヒュッテ内の受水槽撤去）
		夏虫沢ヒュッテ設備 駐車場	1-4　ラジコンカーサーキット（夏場利用）	2-6　第二キュービクルの更新（天下森ヒュッテ第一キュービクル）の撤去のため 2-7　圧雪車１台、スノーモービル１台更新 2-8　圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置（グラウンド敷地内）
	天下森ヒュッテ	天下森ヒュッテ建物		2-9　建物解体撤去 2-10　アスベスト調査
	ゲレンデ	ゲレンデの改修	1-5　芝生広場（ターゲットバードゴルフ等）（夏場利用） 1-6　デイキャンプ場 1-7　UAV離発着場（着陸　ターゲット） 1-8　ドッグラン	2-11　山頂リフト昇降床板補修 2-11　天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸 2-17　ナイター照明をLED照明へ更新 2-18　Tバーリフトの撤去

1）夏虫沢ヒュッテ新築計画

・休憩室の利用２００人想定
・スキースクール利用スペース確保
・管理動線、一般利用者・車いす利用者等動線の確保
・食機能強化に向けた厨房強化、
・テラス設置によるカフェ利用棟
・キッズスペース設置

夏虫沢ﾋｭｯﾃ　平面図



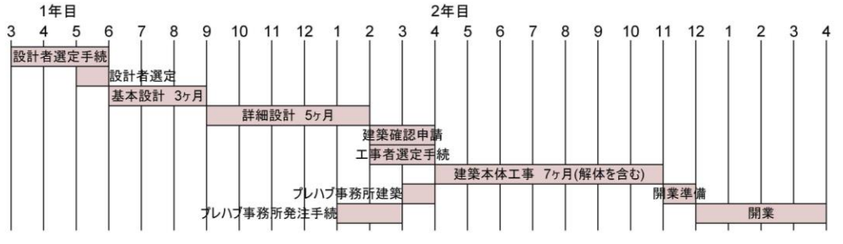
床面積

1階床面積(施工床)
約900㎡　約272坪（仮）

主要居室面積変化

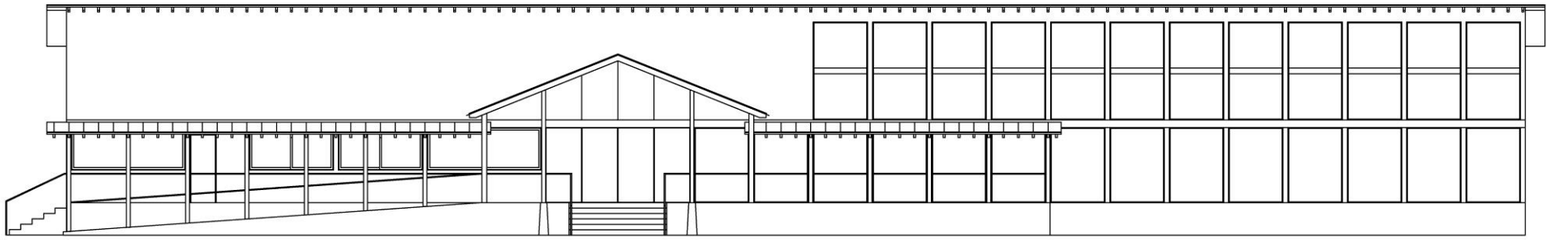
休憩室　約138㎡→約255㎡
ホール　約42㎡→約58㎡
事務室　約23㎡→約26㎡
厨房　約38㎡→約35+20㎡

想定工期

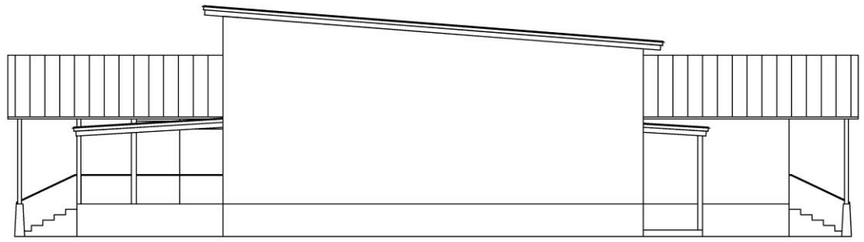


夏虫沢ﾋｭｯﾃ　立面図

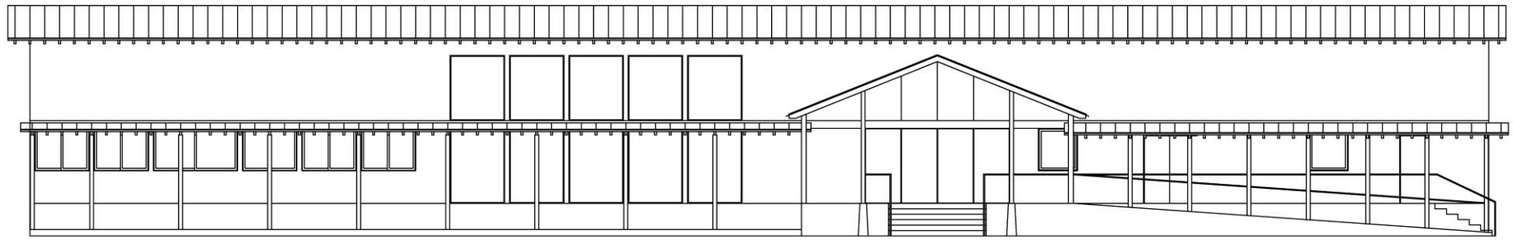
ゲレンデ側立面図



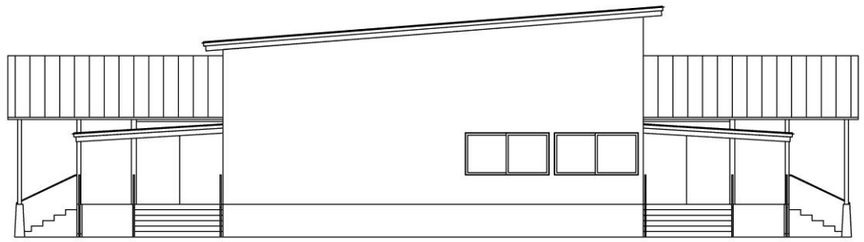
道路側立面図



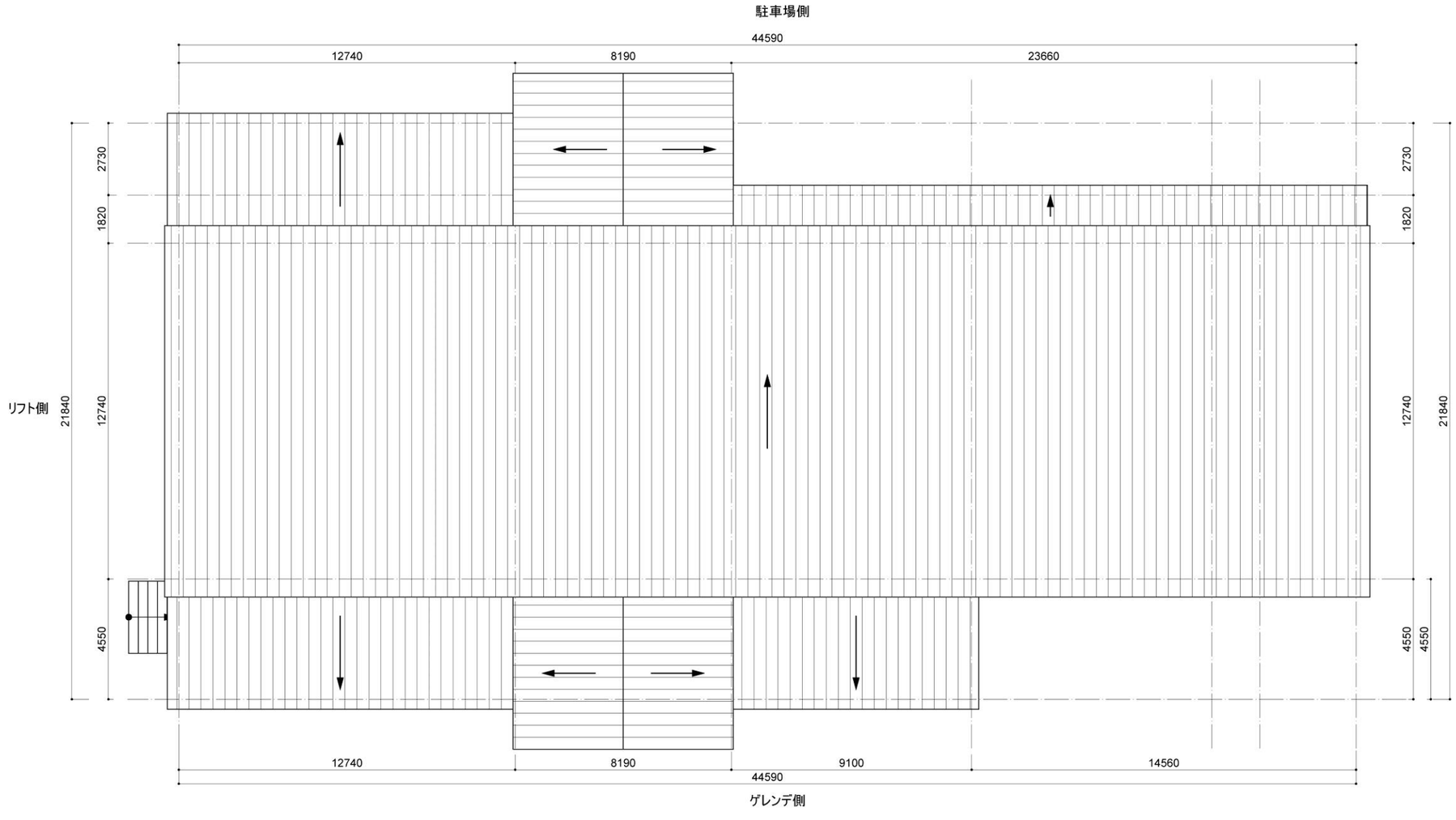
駐車場側立面図



ﾘﾌﾄ側立面図



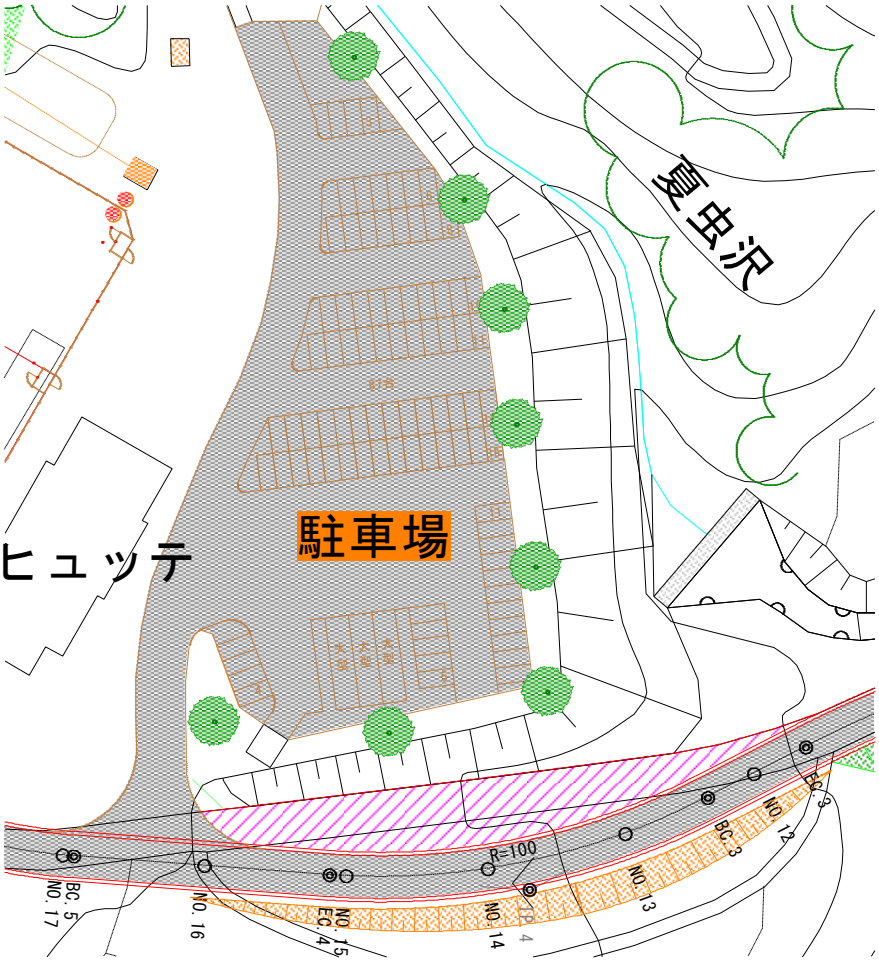
夏虫沢ﾋｭｯﾃ　屋根伏図



夏虫沢ヒュッテ整備イメージ

2）夏虫沢ヒュッテ駐車場

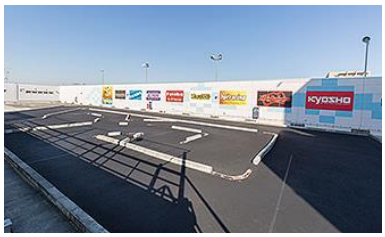
・駐車場の適正配置、補修



・夏場利用（一例）：一部平坦舗装面を活用したラジコンサーキット等の利用

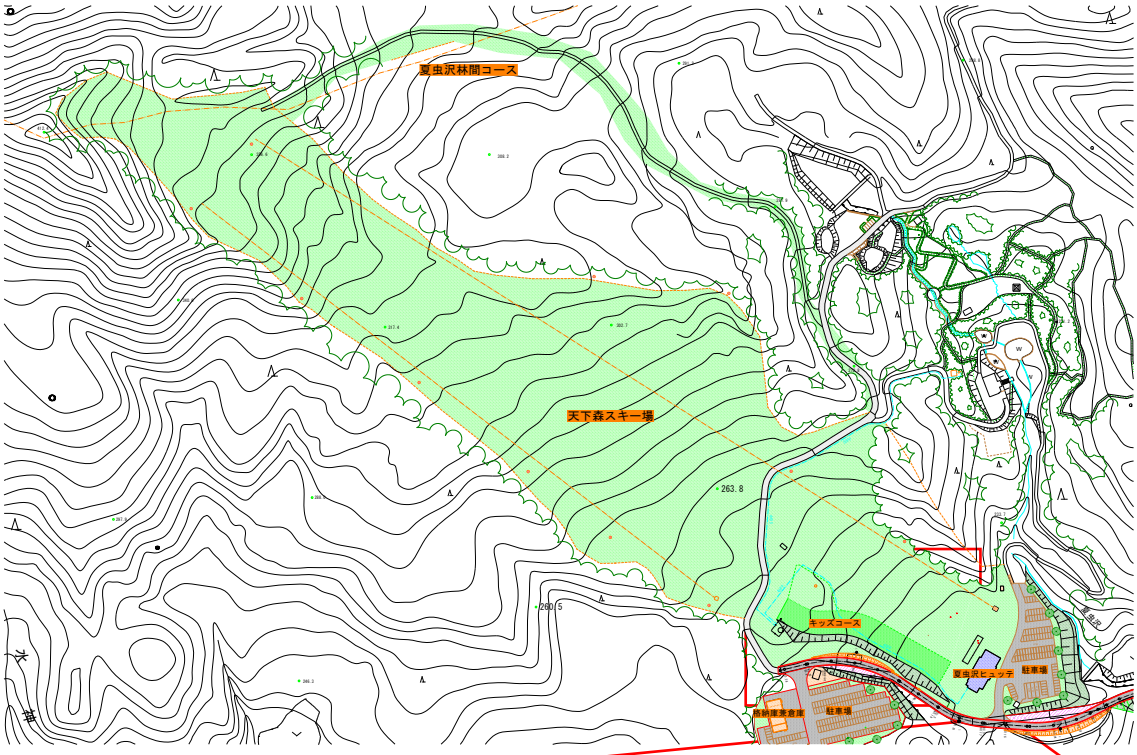
秋田県内では、ラジコンレース場としては数か所設置されている。室内が主となっている。コース仕切り、操作台の設置が必要となる。（仮設も可能）

つくばRCパーク
https://www.tsukuba-rc.com/about-arena

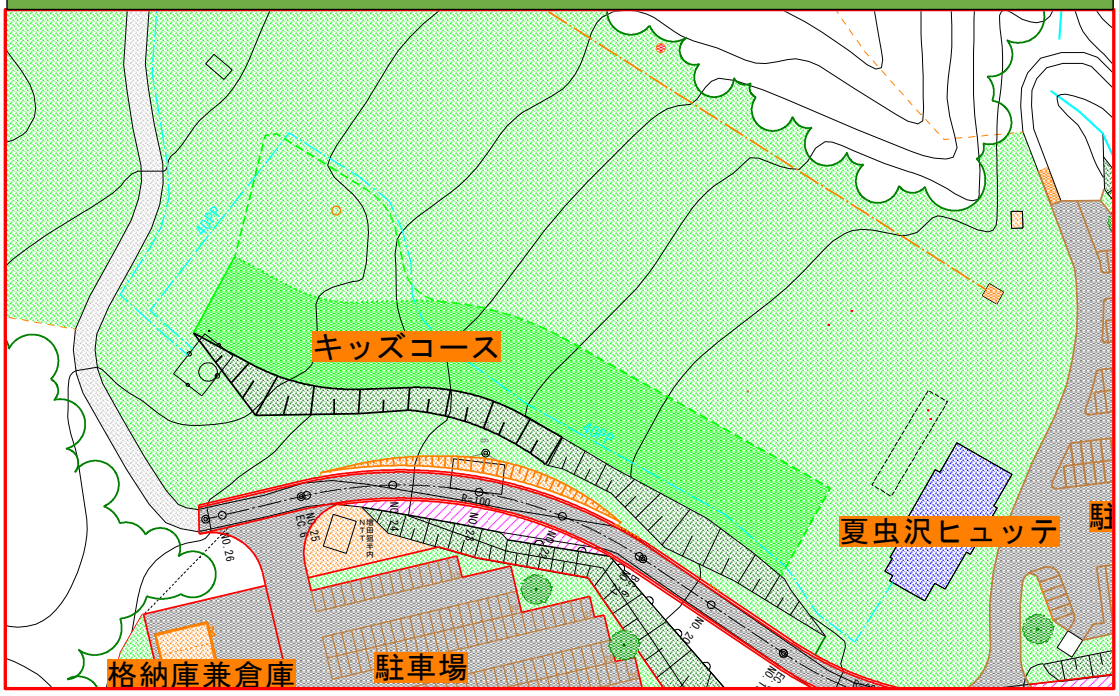


TamTam　HOBBYSHOP
https://www.hs-tamtam.jp/circuit

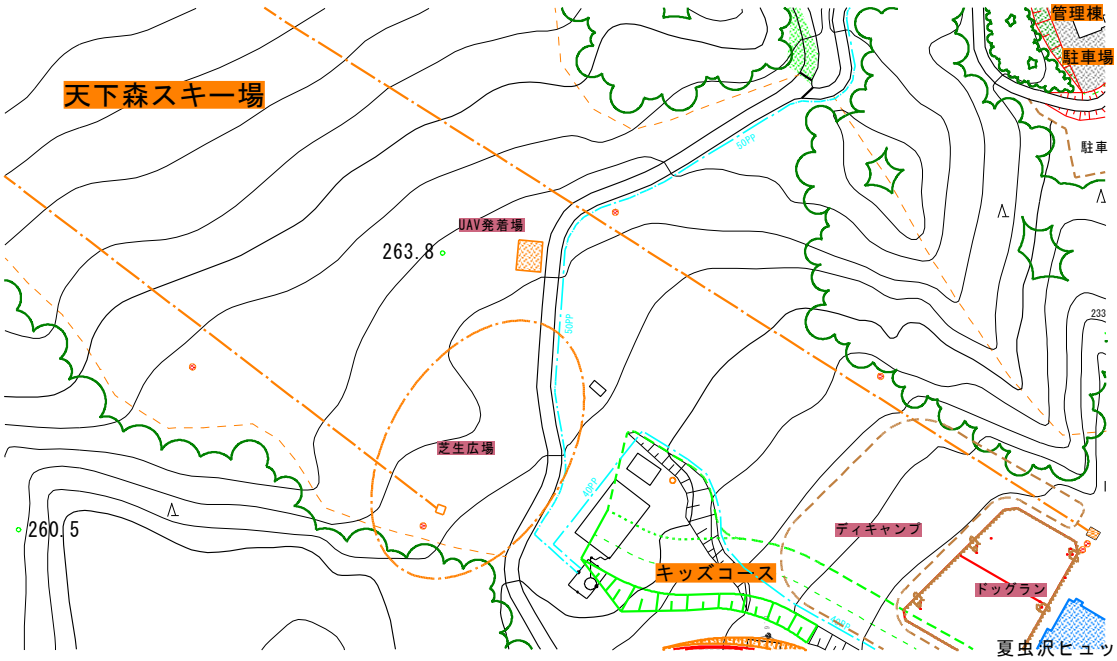
＜冬期間の利用＞



・天下森ヒュッテ解体のうえ、キッズコースを拡大



＜夏場の利用＞



○ 想定される夏場利用整備メニューの一例

1-5　芝生広場（ターゲットバードゴルフ等）（夏場利用）
1-6　デイキャンプ場
1-7　UAV 離発着場（ドローン離着陸　ターゲット）
1-8　ドッグラン

●芝生広場（ターゲットバードゴルフ等）（夏場利用）

◇ターゲットバードゴルフ

一般社団法人　日本ターゲットバードゴルフ協会 HP

参考　秋田県内 TBG 団体

団体名	活動状況
大館市ＴＢＧ協会	毎日
大館北ＴＢＧ協会	毎日
大館樹海ＴＢＧクラブ	毎日
森岳ＴＢＧ協会	火・金
能代市ＴＢＧ協会	月
秋田市ＴＢＧ協会	火・木・金・土
にかほ市ＴＢＧ協会	火
羽後増田ＴＢＧ協会	火

参考　：コース整備概要

	公認常設コース	公認仮設コース
ホール数	9 ホールまたは 18 ホールを標準とする	常設コースに準ずる
ホール距離	①パー3（ショートホール） 30 ｍ～50 ｍ ②パー4（ミドルホール） 45 ｍ～70 ｍ ③パー5（ロングホール） 60 ｍ～90 ｍ	①パー2（ショートホール） 15 ｍ～30 ｍ ②パー3（ミドルホール） 30 ｍ～50 ｍ ③パー4（ロングホール） 45 ｍ～70 ｍ ※常設コースと同じ設定もよい
パー総数	9 ホールのパー総数は 36 とし、その内訳は、パー3 が 2 ホール、パー4 が 5 ホール、パー5 が 2 ホールとする	9 ホールのパー総数は 27 とし、その内訳は、パー2 が 2 ホール、パー3 が 5 ホール、パー4 が 2 ホールとする
面　　積	9 ホールにつき 7,000 ㎡以上で全長 600 メートル以上とする	9 ホールにつき 5,000 ㎡以上で全長 400 メートル以上とする
ティーイング グラウンド	台地状（3 ｍ四方）もしくは、周りのフェアウェイと区画線、柵等ではっきり区別をし、ティーマークを設置する	3 ｍ四方を区画線または柵等ではっきり区別し、ティーマークを設置する
フェアウェイ	芝とする 幅は 6 ｍ以内とする	芝または土とする 幅は 6 ｍ以内とする
境　界　線	コース以外の土に砂を入れて区分するか、標識で区分するか、細紐を用いて明確に区分する	コースは細紐で区分する
バンカー／ウォーターハザード	9 ホールにつき、いずれか 2 種類以上設置しなければならない	設置しなくてもよい
標　　識	危険防止のための注意書きおよび距離の表示等プレーに必要な表示をする	常設コースと同じが望ましい
公認指導者	9 ホールにつき 1 名以上が常駐	9 ホールにつき 1 名以上が立ち会う
主な用途	日本ＴＢＧ協会公認大会、講習会の開催	講習会、その他

◇グランドゴルフ

表　秋田県内公認コース

認定番号	コース名称 所在地・電話・設備
第12号	秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場
	大仙市太田町太田字惣行小坂47 （Tel0187-86-9116）
第26号	天王グラウンド・ゴルフ場（グランパス）
	潟上市天王字蒲沼92-11 （Tel018-878-7277）
第43号	薫風苑グラウンド・ゴルフコース
	にかほ市院内〆カケ114 （Tel0184-37-3070）
第58号	五輪坂スポーツガーデングラウンド・ゴルフコース
	雄勝郡羽後町林崎字三ツ盛22番地 （Tel0183-62-0180）
第104号	三種町ゆめっぴいグラウンド・ゴルフ場
	山本郡三種町大口字上の沢17-4 （Tel0185-85-4646）
第150号	横手市大森グラウンド・ゴルフ場
	横手市大森町字高口下水戸堤1番地内（Tel0182-26-2601）
第169号	二荒山（潟上市）グラウンド・ゴルフ場
	潟上市飯田川下虻川字蟹沢12番地1 （Tel018-877-2011）
第184号	太平山リゾート公園グラウンド･ゴルフ場
	秋田市仁別字マンタラメ地内 （Ｔｅｌ018-827-2688）
第190号	横手市平鹿町吉田グラウンド・ゴルフ場
	横手市平鹿町上吉田字公地119番地 （Tel0182-24-1131）
第213号	大潟村グラウンド･ゴルフ場（大潟村多目的運動広場）
	南秋田郡大潟村字北1-3 （Tel0185-45-2995）
第252号	美郷町大台野広場グラウンド・ゴルフ場
	仙北郡美郷町千屋字大台野1番地4 （Tel0187-85-3131）
第272号	米ヶ森公園グラウンド・ゴルフ場
	大仙市協和荒川字新田表15-2 （Tel018-881-6646）
第294号	花葉館グラウンド･ゴルフ場
	仙北市角館町西長野古米沢　30-19 （Tel0187-55-5888）
第306号	赤坂総合運動公園グラウンド･ゴルフ場
	横手市赤坂字大沼沢地内（Tel0182-33-2546）
第372号	スポパークかわべグラウンド・ゴルフ場
	秋田市河辺岩見字萱森上野17-2 （Tel018-881-2411）
第414号	藤里素波里グラウンド・ゴルフ場
	山本郡藤里町粕毛字南鹿瀬内38-1 （Tel0185-79-1571）

認定コースとはグラウンド・ゴルフの専用コースであり、以下に定める認定条件に適合するものとする。

①名称に「グラウンド・ゴルフ」を入れること

②グラウンド・ゴルフルールでプレーができること

③標準コース（15ｍ×2、25ｍ×2、30ｍ×2、50ｍ×2）がとれ、日本協会認定のホール

　ポスト及びスタートマットがコース数常備されていること

④同じ距離のホールが連続しないこと（8 ホールから 1 ホールについても同様）

⑤8 ホールを単位（8 ホール×○コース）とすること

　ホールの表示は№1～8、2 コース以上設置の際も通し番号にしないこと

⑥安全に配慮されていること

⑦各ホールともホールインワンが可能であること

⑧コースは芝、人工芝、土、砂いずれでも可

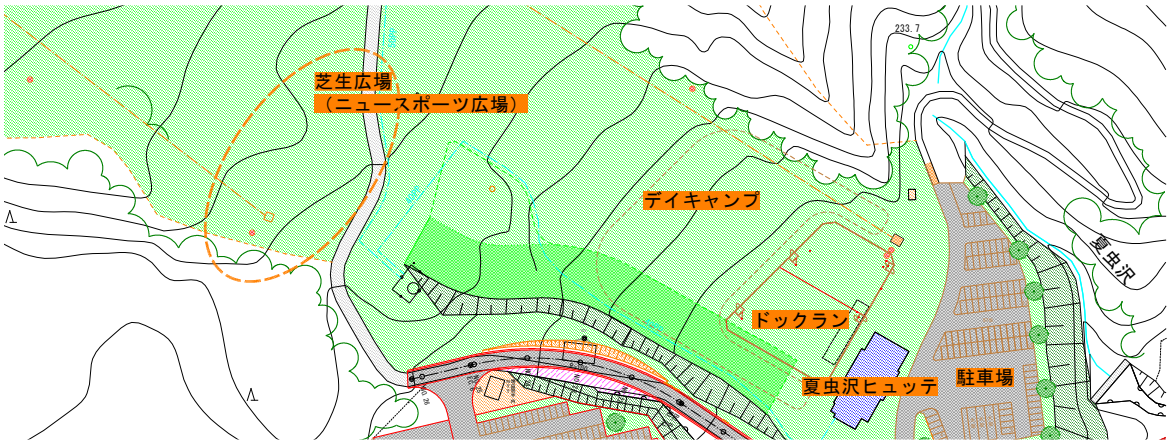
⑨利用者に制限がないこと（市内在住者、ホテル施設利用者等）

⑩並列コースでないことが望ましい

資料　公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会

●芝生広場（ニュースポーツ広場）（夏場利用）

●UAV 離発着場（ドローン離着陸　ターゲット）



●デイキャンプ（エリア設定）

夏場にゲレンデ周辺の広場を活用し、デイキャンプエリアを設置。緑の斜面で開放感を味わいながら、アウトドアを満喫できる。BBQ も楽しむことができる。

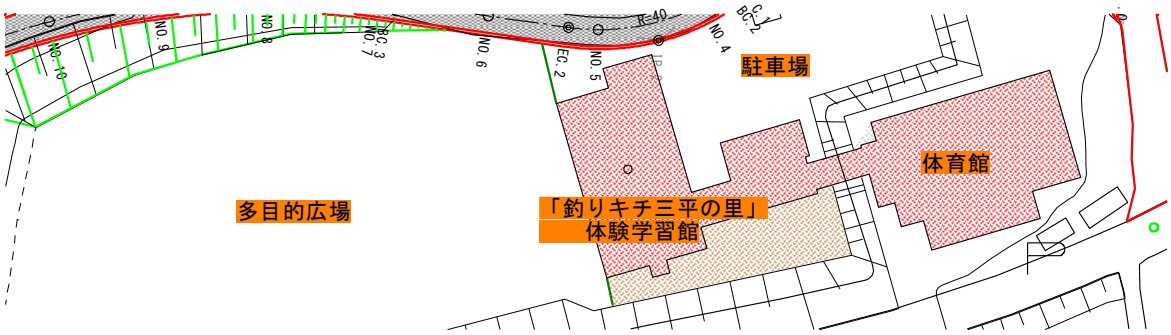
●ドッグラン（フェンス（脱着式）、専用手洗い、犬用トイレ等）

リードを外して、飼い主と犬が自由に遊べるドッグランを設置。ペット需要が高まる一方で、犬を自由に遊ばせることができる場は少ない。

周囲をフェンスで囲い、手洗い、犬用トイレなども完備されたドッグランを整備する。

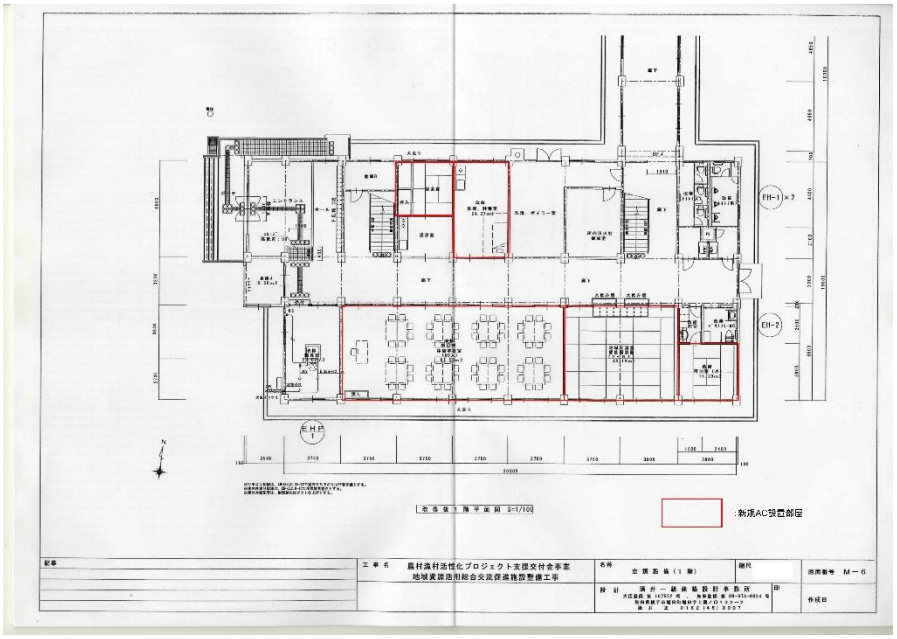
（2）周辺施設の整備

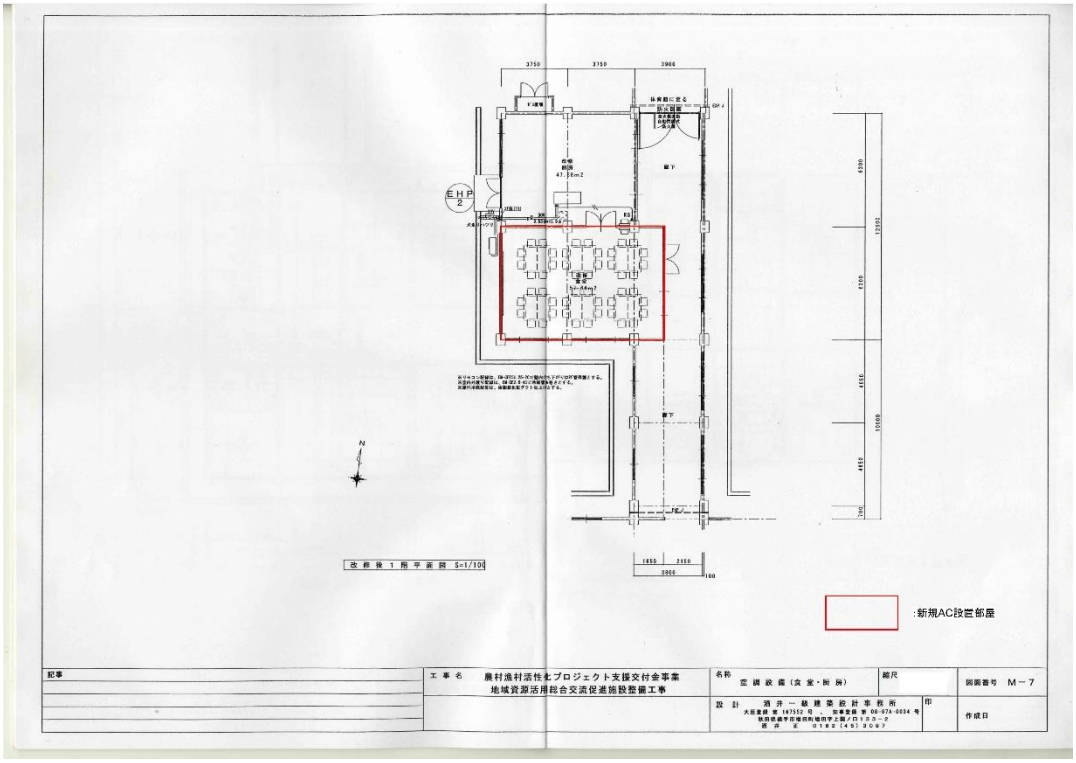
「釣りキチ三平の里」体験学習館ゾーン　全体計画

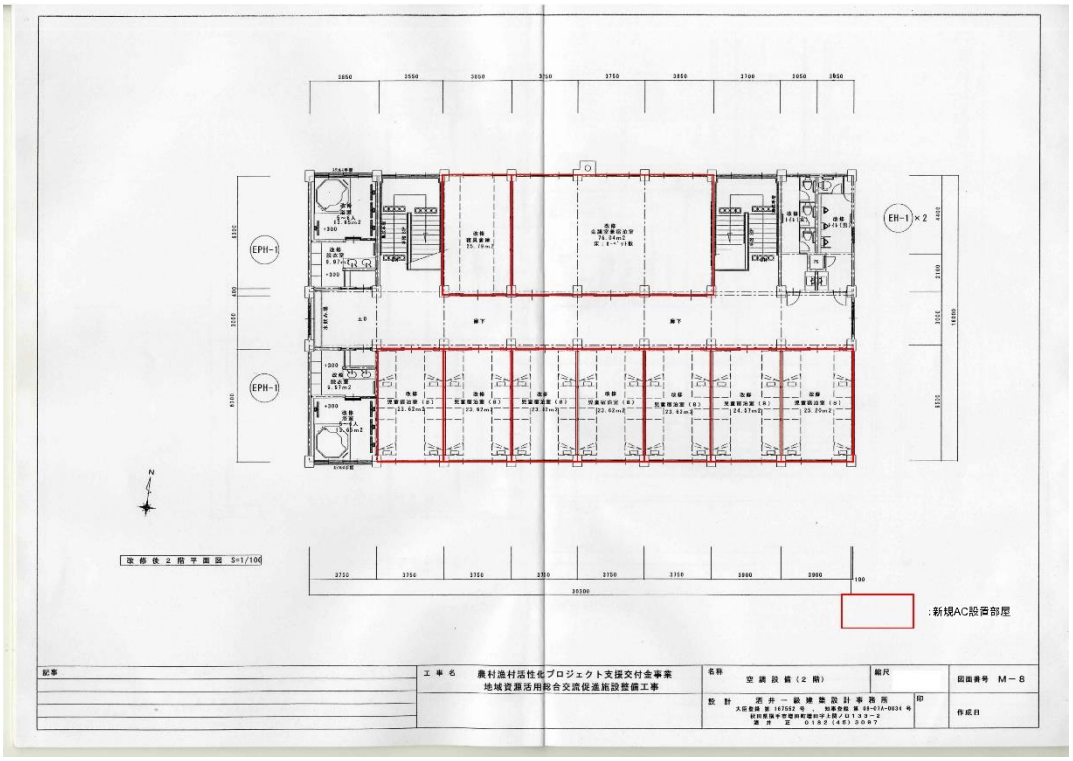


ゾーン	施設設備	方針1　ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加（自然体験、地域の特性、身近さ） 整　備　内　容	方針2　機能維持のための整備（機能維持、ウイズコロナ、利用しにくさ解消） 整　備　内　容
釣りキチ三平の里」体験学習館 狙半内地区交流センター）	宿泊棟	1-1　利用案内所 1-2　全体案内板	2-1　各部屋にエアコンの設置（部屋ごと単独） 2-2　受水槽容量不足のため受水槽の拡充 2-3　スキー場の受水槽からグランドまでの給水管整備
	体育館		2-4　外壁の補修リフォーム 2-5　屋上の防水工事 2-6　宿泊棟と体育館の渡り廊下接合部の防水対策 2-7　屋外石油タンクの屋根掛け 2-8　吊り天井の改修 2-9　体育館のトイレ便器の洋式化

●エアコン設置個所




改修後１階平面図 S=1/100
:新規AC設置部屋
工事名 農村漁村活性化プロジェクト支援交付金事業
地域資源活用総合交流促進施設整備工事
名称 空調設備（食堂・厨房）
縮尺
図面番号 M－7
設計 酒井一級建築設計事務所
作成日


EPH-1
EH-1×2
改修後２階平面図 S=1/100
:新規AC設置部屋
工事名 農村漁村活性化プロジェクト支援交付金事業
地域資源活用総合交流促進施設整備工事
名称 空調設備（２階）
縮尺
図面番号 M－8
設計 酒井一級建築設計事務所
作成日

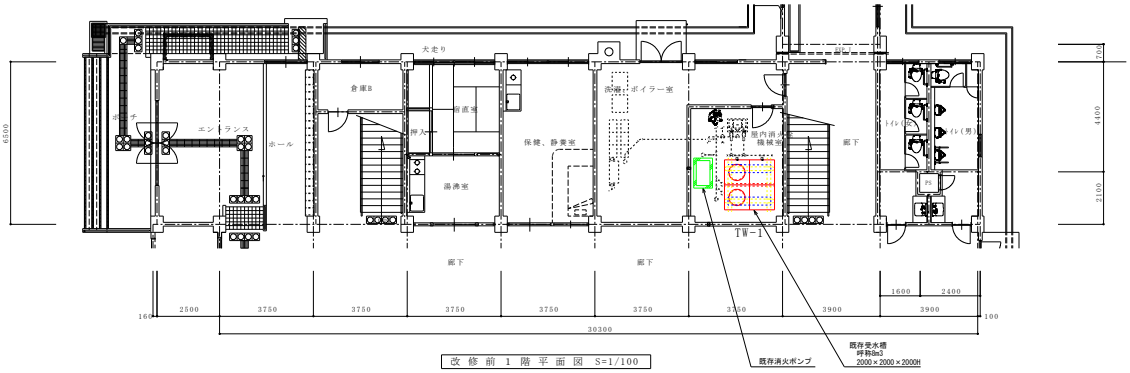
児童宿泊室

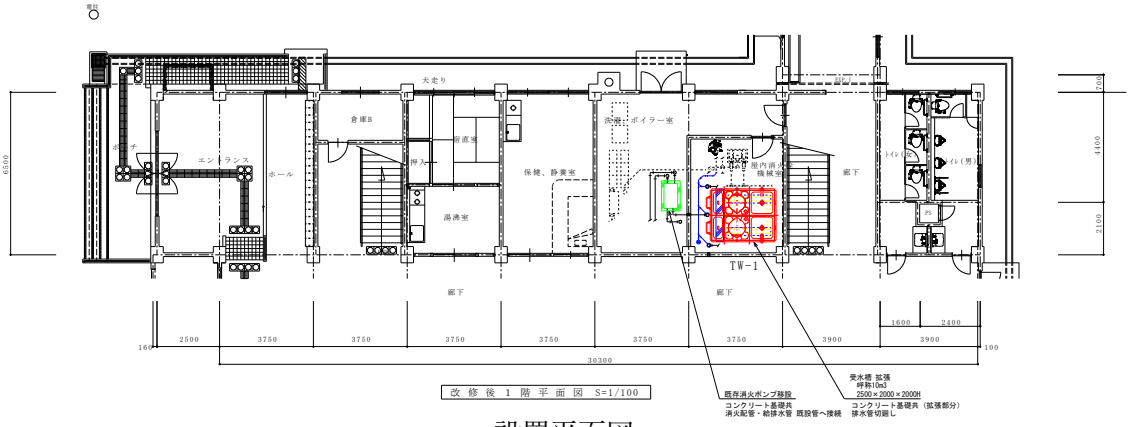
多目的体験学習室

食堂

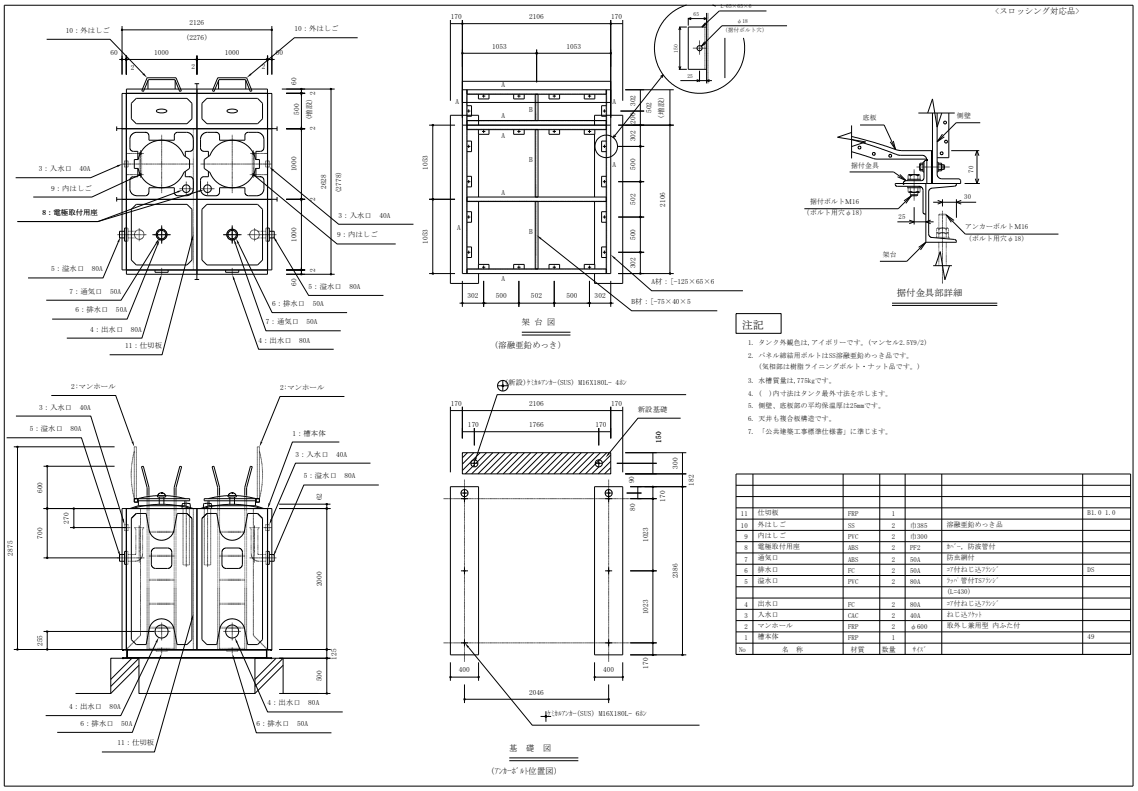
各室壁が全面開口となっているため設置方法要検討

●受水槽の拡張

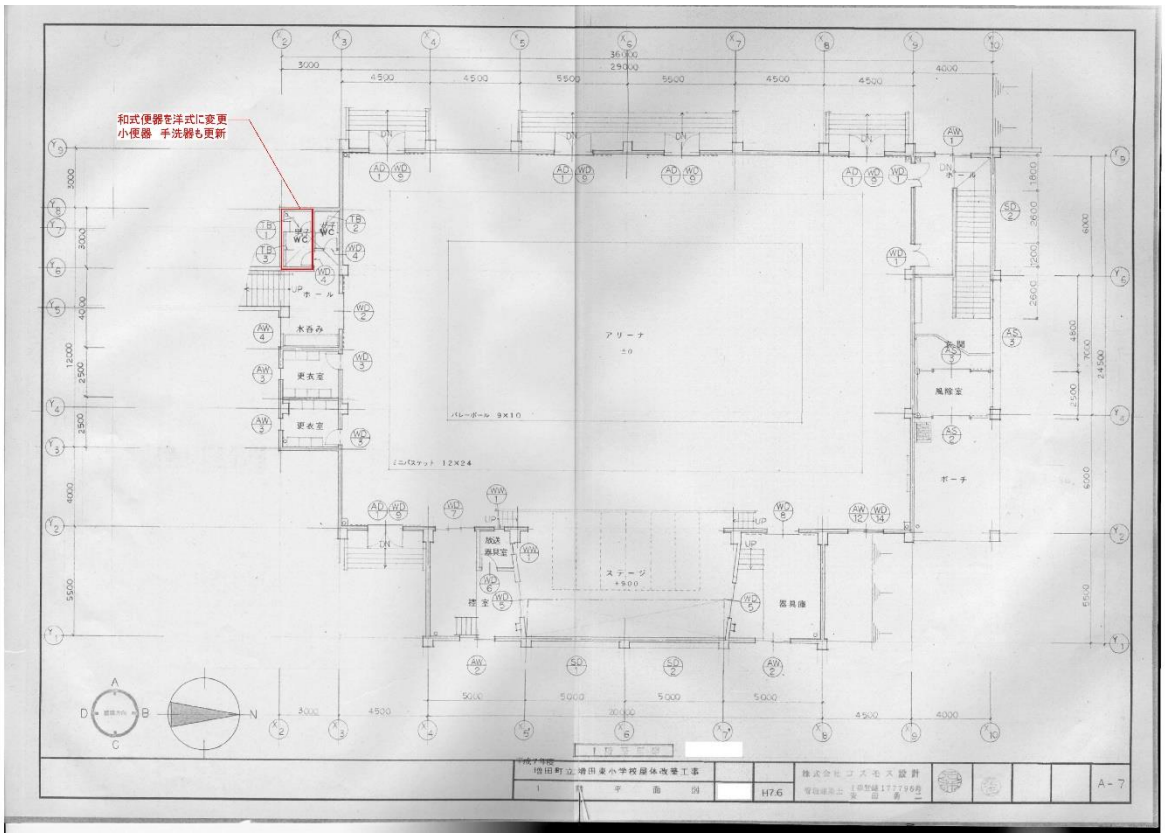




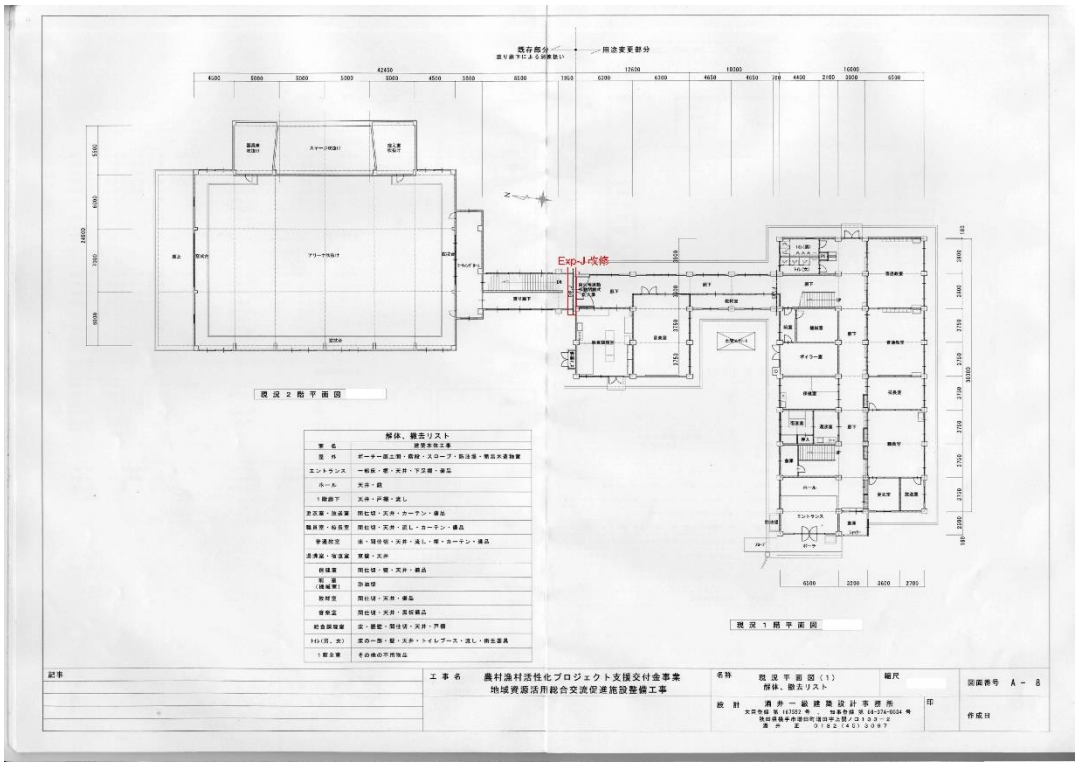
設置平面図

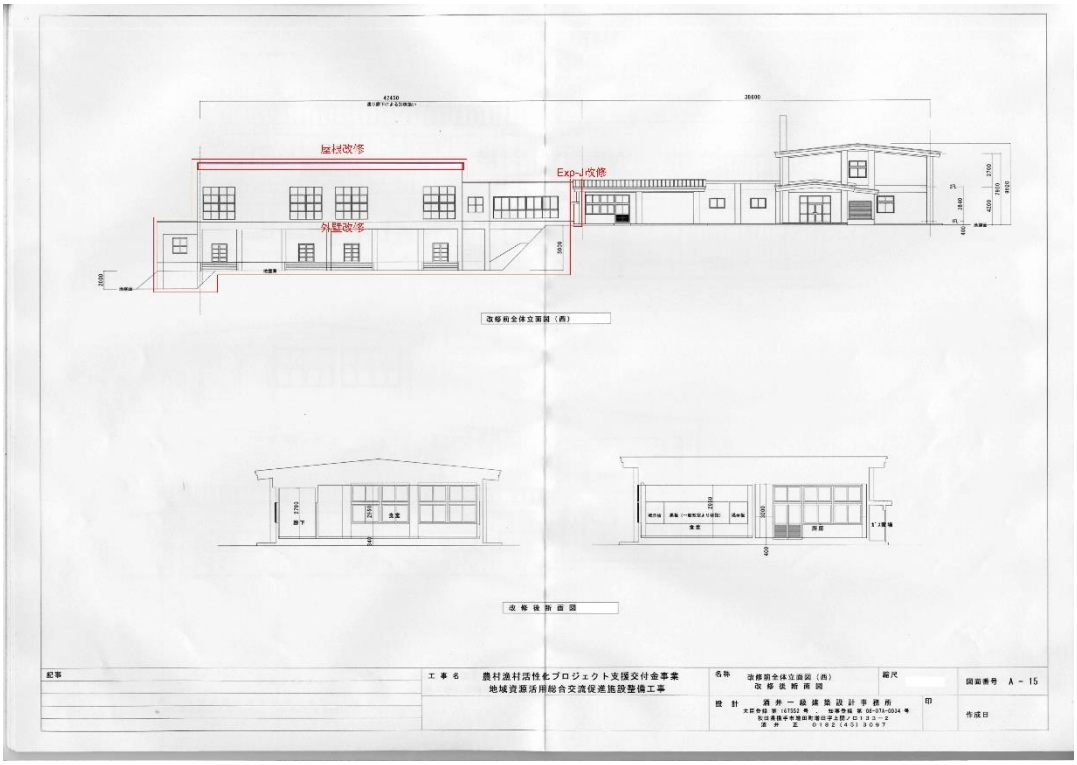


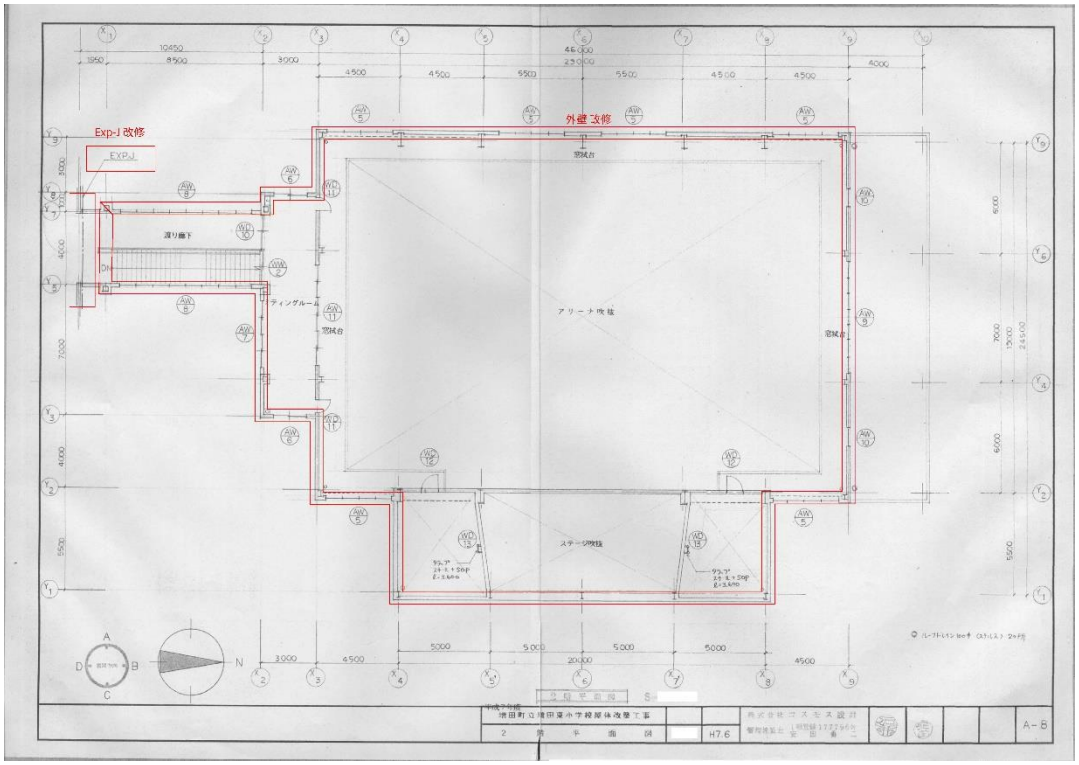
●体育館改修（トイレ改修）

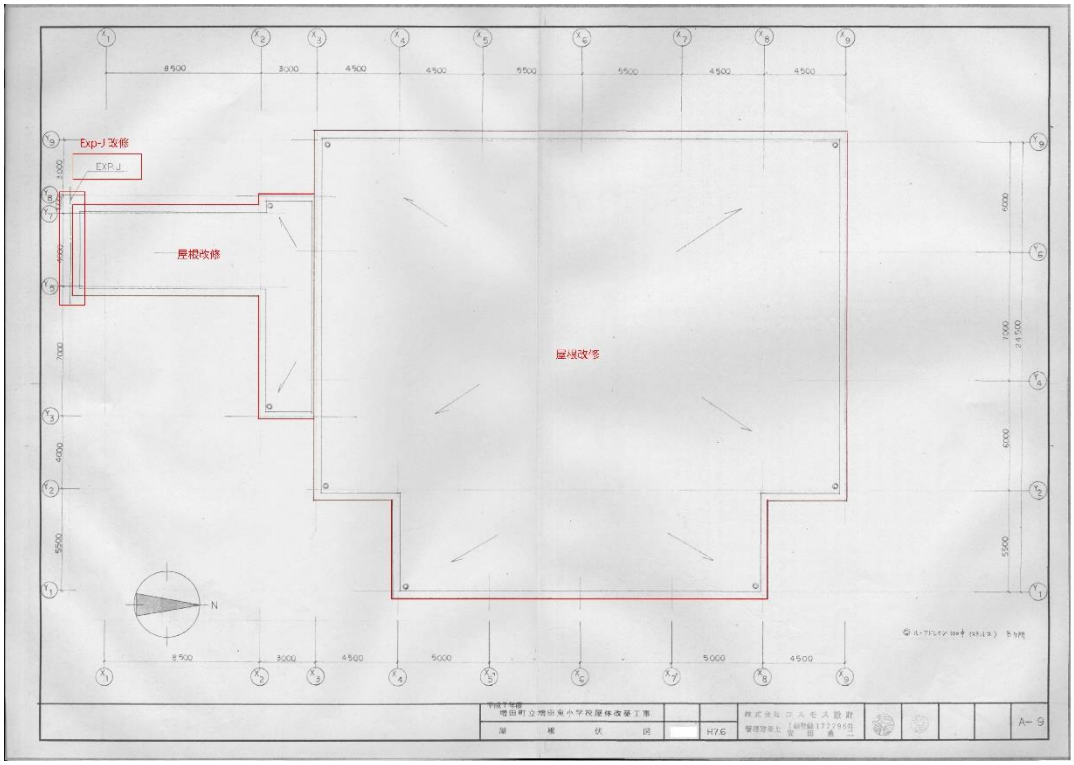


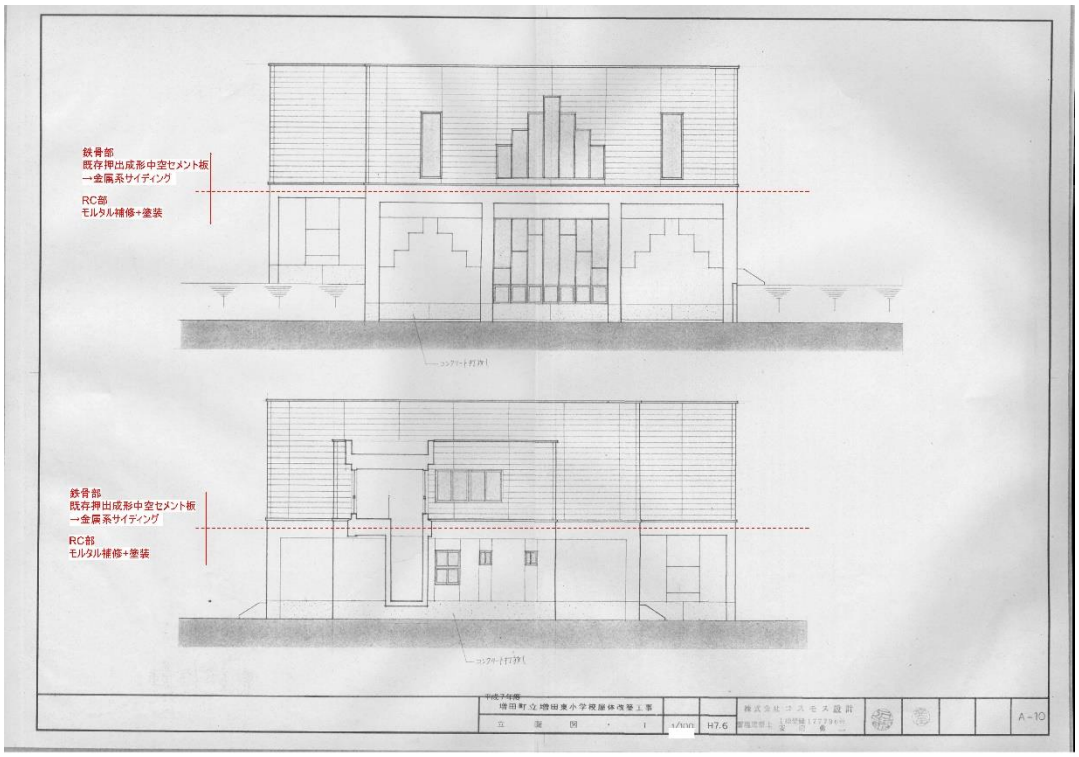
●体育館改修（ジョイント、屋根改修、外壁改修）



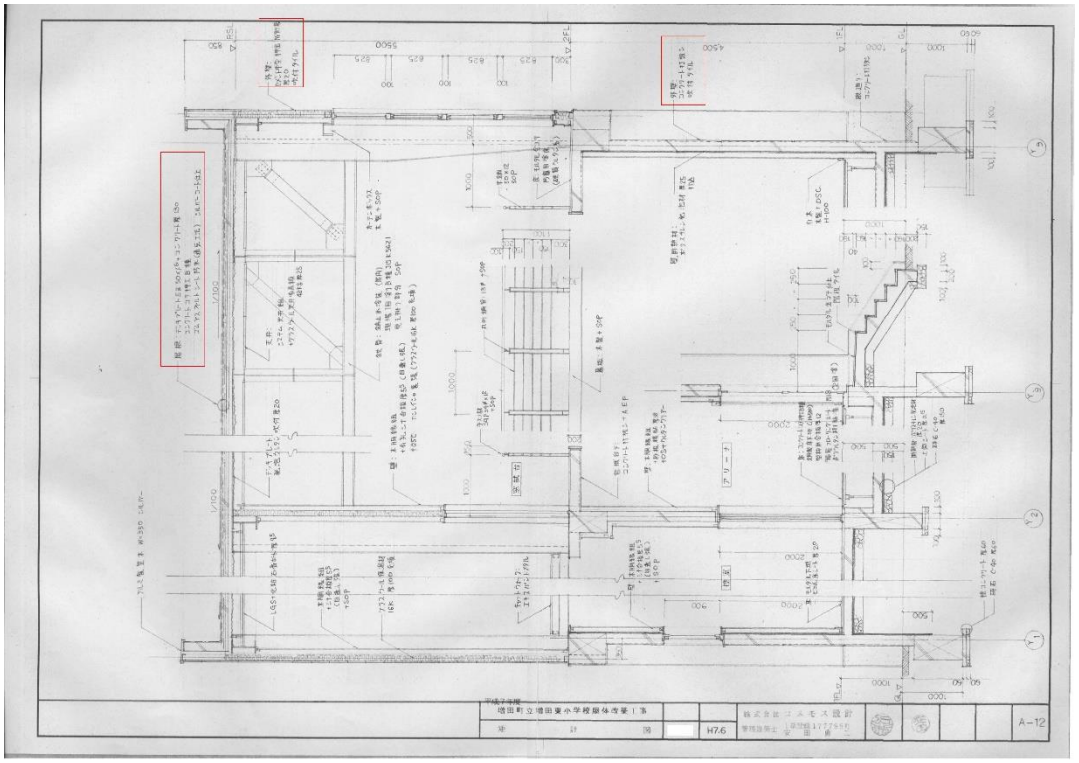


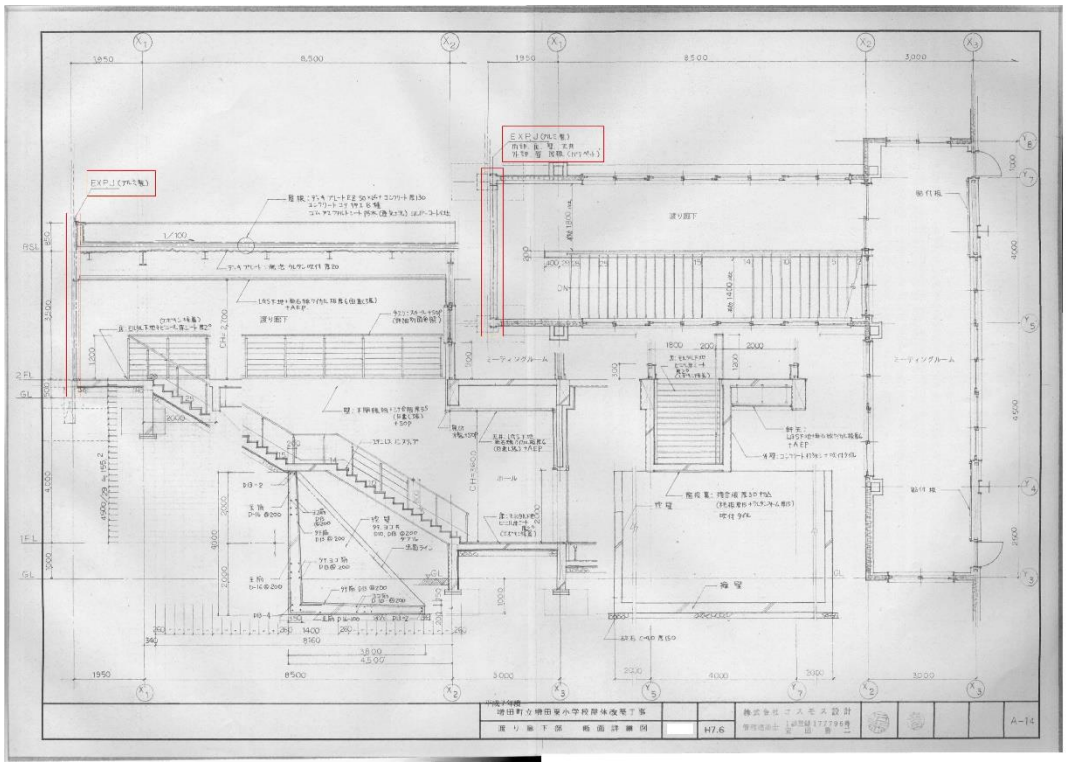

Exp-J 改修
EXP.J
外壁 改修
アリーナ改修
ステージ改修
A-8


Exp-J 改修
EXP.J
屋根改修
屋根改修
A-9

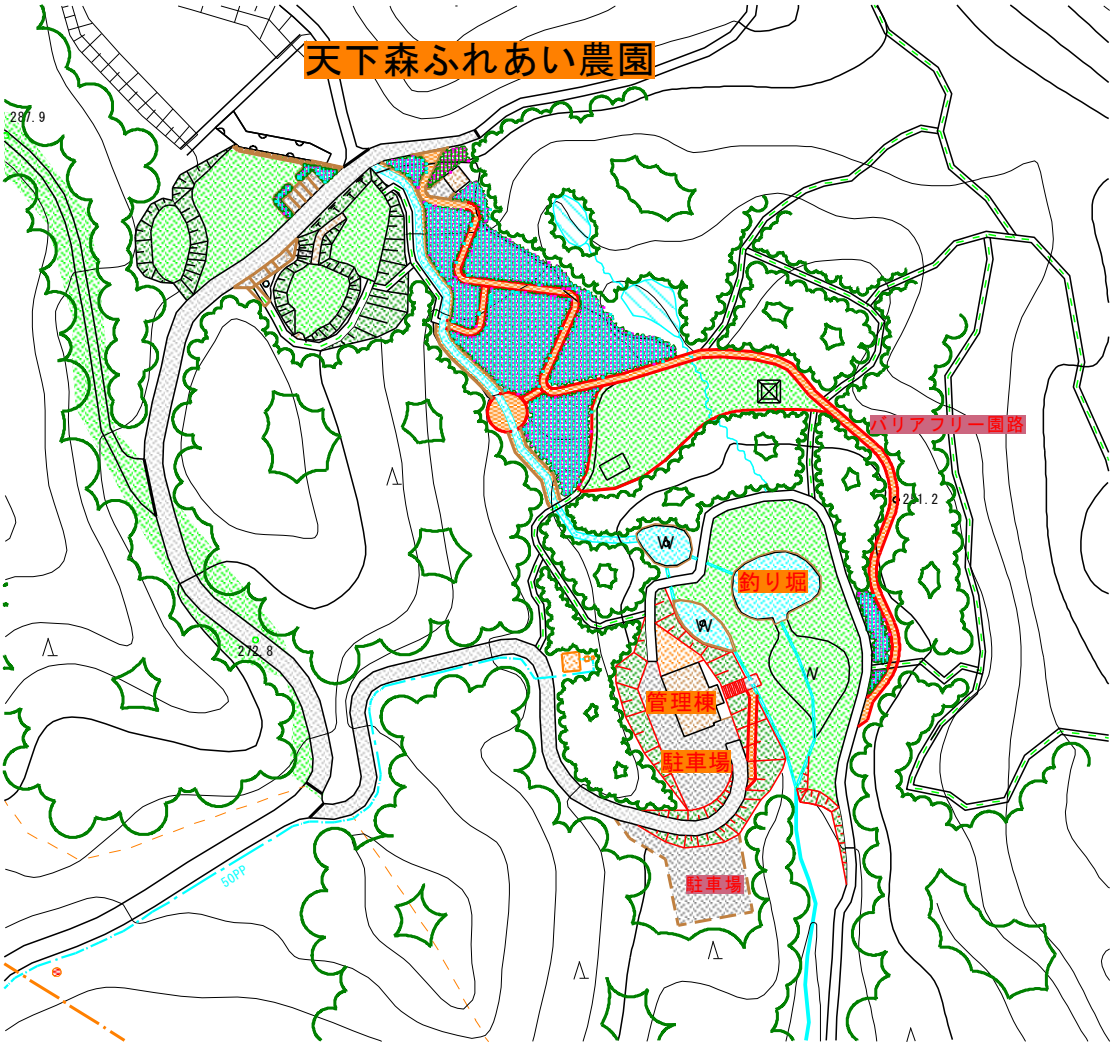

鉄骨部
既存押出成形中空セメント板
一金属系サイディング
RC部
モルタル補修+塗装
鉄骨部
既存押出成形中空セメント板
一金属系サイディング
RC部
モルタル補修+塗装
H7.6
A-10

鉄骨部
既存押出成形中空セメント板
一金属系サイディング
RC部
モルタル補修+塗装
鉄骨部
既存押出成形中空セメント板
一金属系サイディング
RC部
モルタル補修+塗装
H7.6
A-11





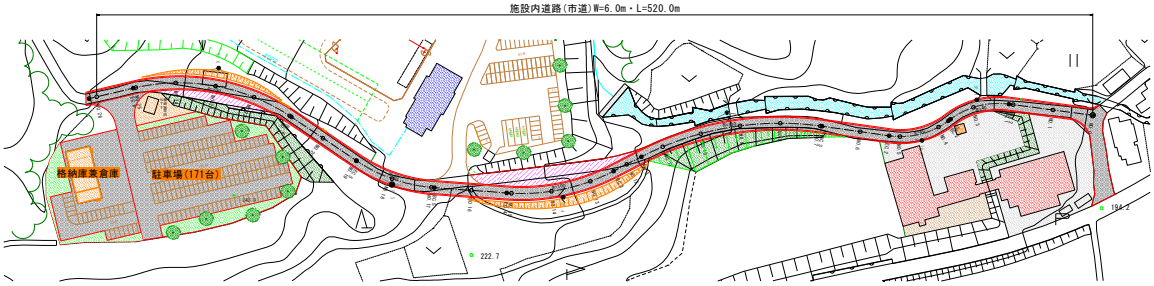
天下森ふれあい農園ゾーン　全体計画



ゾーン	施設設備	方針1　ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加（自然体験、地域の特性、身近さ） 整　備　内　容	方針2　機能維持のための整備（機能維持、ウイズコロナ、利用しにくさ解消） 整　備　内　容
天下森ふれあい農園	農園外構	1-1　花木園、花畑 1-2　バリアフリー園路	2-6　管理棟の接道横へ草地駐車場の舗装 2-8　野外卓 ·遊具撤去

(3) 駐車場、市道、サイン等

●市道計画



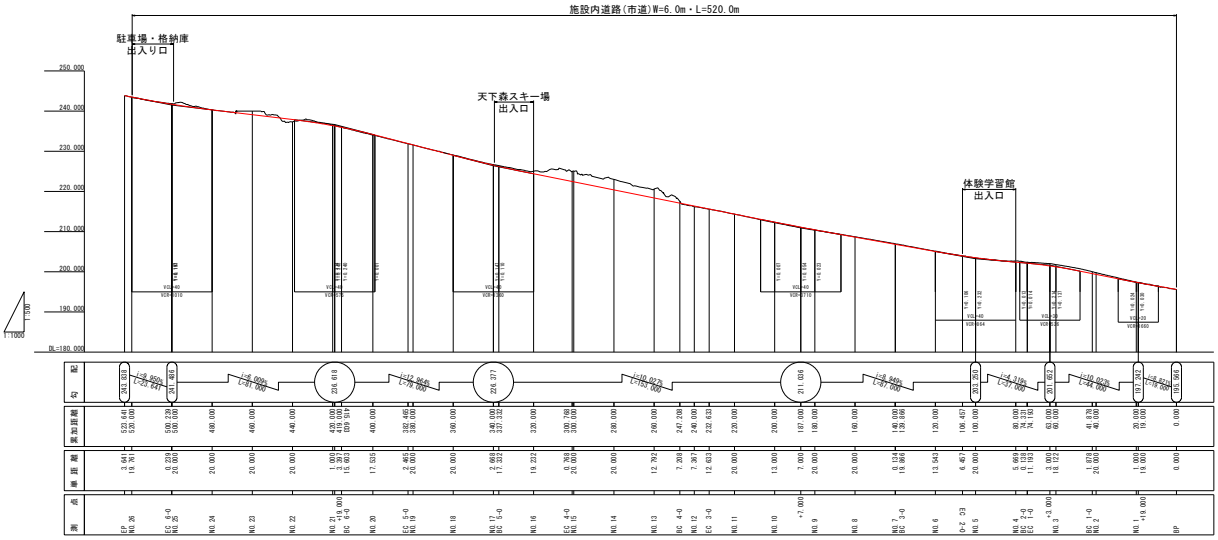
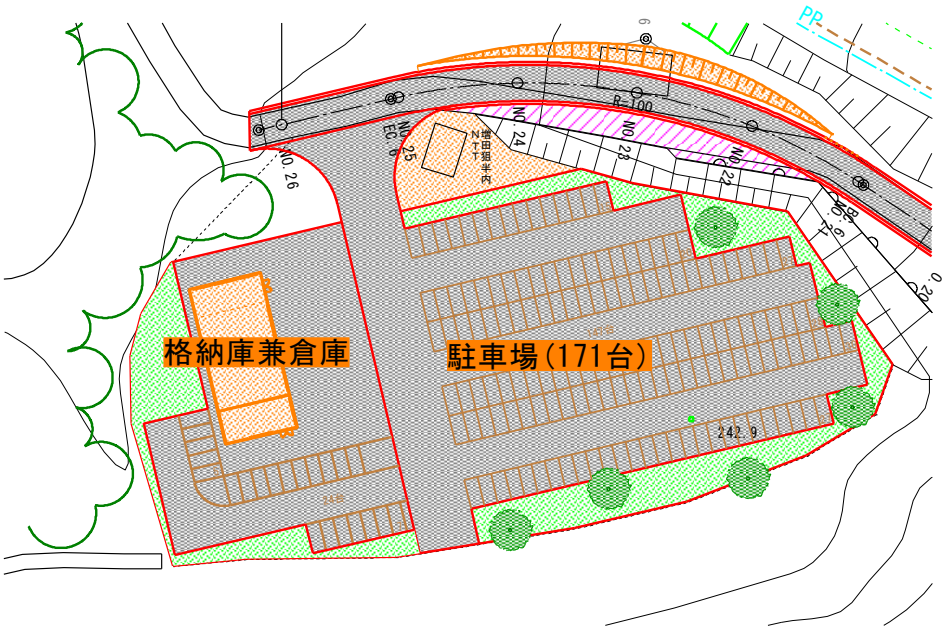


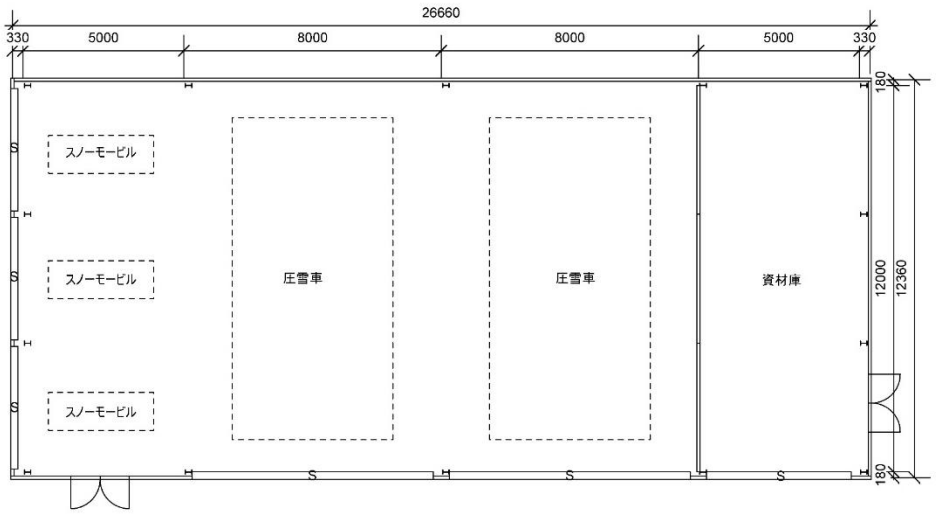
図　市道縦断図

●新規駐車場



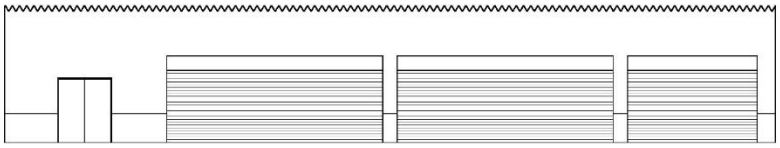
●新設　格納庫

格納庫平面図

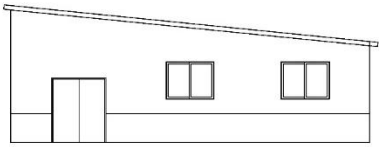


床面積
約330㎡約100坪

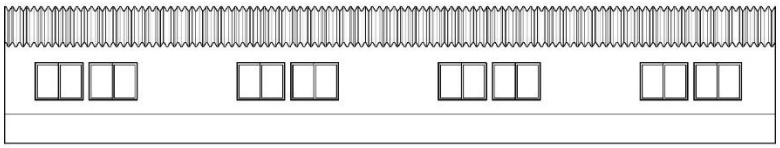
正面立面図



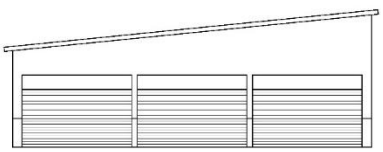
側面1立面図



背面立面図



側面2立面図



5.事業計画

事業メニューと概算工事費

単位：百万円

ゾーン		施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 （自然体験、地域の特性、身近さ） 整 備 内 容	方針2 機能維持のための整備 （機能維持、ウイズコロナ、利用しにくさ解消） 整 備 内 容	概算金額 （税込み）	概算委託金額 （税込み）	実施時期 R4年度	実施時期 R5～6年度	実施時期 R7～8年度	備 考
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	1-1 食機能強化（そば、発酵食、カフェ等） 1-2 展望、テラス等 1-3 バリアフリー・多目的トイレ	2-1 スキー授業に対応した席数確保(200人程度)	414	42	○	○		
				2-2 スキースクールの詰め所確保(ヒュッテ内)						
				2-3 天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み						
				2-4 建物解体撤去	9			○		
				2-5 水道水確保の検討、受水槽等(天下森ヒュッテ内の受水槽撤去)	5		○	○		
		夏虫沢ヒュッテ設備、駐車場		2-6 第二キュービクルの更新(天下森ヒュッテ第一キュービクル)の撤去のため	71	6	○			
				2-7 圧雪車の1台、スノーモービル1台の更新	43			○		
				2-8 圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置(グランド敷地内)	71	2		○		
	テヒュッ 天下森	天下森ヒュッテ建物		2-11 建物解体撤去（設備の撤去等を含む）	56				○	
				2-12 アスベスト調査	1			○		
	ゲレンデ	ゲレンデの改修	1-5 山頂リフト昇降床版補修	2-18 山頂リフト昇降床版補修	1			○		
			1-7 芝生広場（ターゲットバードゴルフ、グランドゴルフ等）（夏場利用）	2-19 天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸	11	26			○	
			1-8 UAV離発着場、ターゲット	2-20 ナイター照明のLED照明へ新設	29		○			
			1-9 ドックラン	2-21 Tバーリフトの撤去	5				○	
				2-22 夏場利用各種施設備品(ターゲットバードゴルフ・ラジコン操作台)	2				○	
				2-23 芝生広場(芝生500m2程度)・ドックラン(フェンス他180m程度)	11				○	
				2-24 ゲレンデ安全管理設備等備品	5			○		
小 計					734	76				

リンク（動線）	施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 （自然体験、地域の特性、身近さ） 整 備 内 容	方針2 機能維持のための整備 （機能維持、ウイズコロナ、利用しにくさ解消） 整 備 内 容						備 考
駐車場、市道	接続道路改良	1-1 駐車場拡大	2-1 幅員の確保、（W=6.0m・L=520.0m）	97	11		○	○	
		1-2 市道改良	2-2 視認性の確保のため線形改良(起点より圧雪車・駐車場設置予定のグランド)	37			○	○	
小 計				134	11				

ゾーン	施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 （自然体験、地域の特性、身近さ） 整 備 内 容	方針2 機能維持のための整備 （機能維持、ウイズコロナ、利用しにくさ解消） 整 備 内 容						備 考
周辺施設	「釣りキチ三平の里」体験学習館	1-1 利用案内所	エアコン設置、受水槽拡充	112	17		○		
		1-2 全体案内板	体育館外壁リフォーム、屋上防水工事等				○		
			体育館吊り天井改修等、トイレ洋式化				○		
	（天下森ふれあい農園）	1-3 ふれあい農園花木園・花畑・バリアフリー園路ほか	草地駐車場の舗装、遊具撤去ほか					○	
改修事業費合計				980	104				
事業総額					1,084				

6.維持管理計画

（1）予防保全施設の維持管理

維持管理方法の区分として、以下の 3 つの管理方法がある。スキー場及びその周辺施設における建築物や工作物等施設については、施設の構造に基づいて、予防保全、予測保全、事後保全の各管理種別を明確にして、日常的な点検及び補修更新等を図ることで、施設をできるだけ長く利用できるような維持管理を行っていくことが必要となる。

＜予防保全型管理＞

劣化・損傷状況を目視等で直接確認できる施設について、点検等により把握した健全度に基づき、時間経過に伴う劣化・損傷を予測した上で、施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止することを目的として行う計画的な修繕・改築。

＜予測保全型管理＞

劣化・損傷状況を目視等で直接確認できない施設について、定期的な保守点検や分解検査等により把握した健全度に基づき、施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止することを目的として行う修繕・改築。

＜事後保全型管理＞

劣化や損傷、異常、故障が確認された時点で行う修繕・改築（予防保全的管理を行っても、ライフサイクルコストの低減効果が得られない施設を含む）。

表－１　公園施設ごとの管理類型の例

		公園施設種別							
		園路広場	修景施設	休養施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	その他
予防保全型管理を行う候補 （ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄ算出結果により、予防保全型管理又は事後保全型管理の判断が必要となる施設）	一般施設		・噴水等 ・日陰だな（10㎡以上）	・休憩所、四阿、パーゴラ等（10㎡以上）	・バックネット、バスケットゴール等※	・ステージ、デッキ、記念碑等（調製のモニュメント等）		・照明施設、引込柱、時計、門・柵（高価なもの、転落防止目的等）※	
	土木構造物	・橋梁（10m以上） ＊鋼橋はすべて	－	－	・野球場、陸上競技場、水泳プール、観覧席等	・植物園、動物園、野外劇場、水族館、図書館、体験学習施設等の教養施設	－	・水門、雨水貯留施設（地下式除く）、 ・擁壁・護岸（高さ2m以上のRC構造）	－
	建築物			・ﾋﾟｸﾆｯｸ場、ｷｬﾝﾌﾟ場等の建築物（10㎡以上）			・売店、便所、飲食店、宿泊施設等（10㎡以上） ・駐車場（立体式）	・管理事務所等（10㎡以上） ・発電施設等	・展望台等（10㎡以上）
	各種設備	・法令等で点検が必要な施設							
事後保全型管理	一般施設	・園路や広場の舗装、縁石等	・日陰だな（10㎡未満） ・花壇、池、滝、つき山、彫像、灯籠、石組、飛石等	・休憩所、四阿、パーゴラ等（10㎡未満） ・汎用品のベンチ、野外卓	・バックネット、バスケットゴール等※ ・ゲートボール場、テニスコート等の簡易な運動施設	・記念碑等（石碑等）	・駐車場（立体式を除く）、水飲場、手洗い場	・照明施設、引込柱、時計、門・柵（安価なもの）※ ・車止め、側溝・排水ます、掲示板、標識、くず箱等 ・水道、暗渠、電線等地下埋設物	
	土木構造物	・橋梁（10m未満）						・擁壁・護岸（高さ2m未満、石積み、間知ブロック、補強土等）	
	建築物			・ﾋﾟｸﾆｯｸ場、ｷｬﾝﾌﾟ場等の建築物（10㎡未満）	・簡易な構造の更衣所、控え室、運動用具倉庫、シャワー室等の工作物		・売店、便所、飲食店、宿泊施設等（10㎡未満） ・時計台等	・倉庫、車庫等でプレハブ等簡易な構造の建築物	・展望台等（10㎡未満）
	各種設備	・法令等の点検が不要な施設 ・劣化の予測が困難で定期点検の不要な電気設備等							

※の施設について、健全度調査（「Ⅱ－４健全度調査と健全度・緊急度判定」参照）の結果がＢ判定となったものはライフサイクルコスト算出を行い予防保全型管理あるいは事後保全型管理の判断を行う。健全度調査の結果がＣとなったものは、コストをかけて長寿命化対策を行っても延命効果が小さいことから、事後保全型管理と判断してよい。

（※健全度調査・判定の詳細は、P27～37 を参照）

出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】平成３０年１０月　国土交通省都市局公園緑地・景観課

《参考》

表－15　補修内容の例－１

※ここに示す補修内容は、全国の公園管理者から提出された公園施設長寿命化計画に基づき、施設別に補修情報を整理したものである。従って、各施設が設置されている地域性、気象条件や利用状況、施設の状態等により必要な補修内容は異なることに留意されたい。

公園施設種類	公園施設名	主要部材	補修内容	頻　度	備　考
園路広場	舗装	アスファルト	オーバーレイ	10年	全般的にアスコンの劣化がみられる時
			クラック穴埋め	3～5年	全面積の5～15%にクラック陥没が生じた時
		インターロッキング 石材	舗装打換	5年	破損箇所が特に目立ってきた時
	階段	木	一部取替	適宜判断	－
	橋梁	木	塗装	適宜判断	－
			床版取替	適宜判断	－
			部品交換	適宜判断	－
休養施設	休憩所	RC造	躯体補修	適宜判断	－
			屋根補修	適宜判断	－
		鋼材	躯体補修	3～4年	計画補修（塗装）として実施
			屋根補修	適宜判断	－
		木造	躯体補修	3～4年	計画補修（塗装）として実施
			屋根補修	適宜判断	－
遊戯施設	シーソー	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			スプリング等交換	3～4年	キーキー音がする（ベアリング使用の場合）
			部品交換	5～7年	軸受部
			タイヤ交換	3～5年	ストッパーゴム（緩衝部）
	ジャングルジム	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			設置面補修	適宜判断	－
			部品交換	5～7年	軸受け（回転ジャングルジムの場合）
	スプリング遊具	木	塗装	2～3年	計画補修として実施
			スプリング等交換	5～7年	スプリング
			基礎補修	適宜判断	－
		鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			スプリング等交換	5～7年	スプリング
			基礎補修	適宜判断	－
		樹脂	塗装	適宜判断	－
			スプリング等交換	5～7年	スプリング
			基礎補修	適宜判断	－
	ブランコ	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			設置面補修	適宜判断	－
			部品交換	3～5年	吊り金具、チェーン、回転軸等
	ロープウェイ	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			滑車・ケーブル等交換	5～7年	ケーブル
				3～5年	滑車部、握り部、緩衝装置
	滑り台	ステンレス 鋼材 樹脂	塗装	2～3年	計画補修として実施
		ステンレス 鋼材 樹脂	部品交換	5～7年	ローラー（ローラー滑り台の場合）
	健康器具系施設	木	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	磨耗度、腐朽度に応じて
			基礎補修	適宜判断	－
		鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	－
			基礎補修	適宜判断	－
	砂場	コンクリート	砂場枠の塗装	2～3年	計画補修として実施
			砂補充	1年	計画補修として実施
			砂入替	適宜判断	－
	鉄棒	ステンレス	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	－
		鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	－
	複合遊具	木	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	磨耗度、腐朽度に応じて
		鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	適宜判断	－
運動施設	バスケットゴール	鋼材	塗装	適宜判断	－
			ネット交換	適宜判断	－
	バックネット	鋼材	塗装	適宜判断	－
			ネット交換	5年	破損状況に応じて

出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】平成３０年１０月　国土交通省都市局公園緑地・景観課

《参考》

表－15　補修内容の例－２

※ここに示す補修内容は、全国の公園管理者から提出された公園施設長寿命化計画に基づき、施設別に補修情報を整理したものである。従って、各施設が設置されている地域性、気象条件や利用状況、施設の状態等により必要な補修内容は異なることに留意されたい。

公園施設種類	公園施設名	主要部材	補修内容	頻　度	備　考
便益施設	便所	CB造	外部補修	適宜判断	－
			内部補修	1年	破損状況に応じて（ドア等補修）
			屋根補修	適宜判断	－
			給排水設備補修	1年	破損状況に応じて（配管等補修）
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
		RC造	外部補修	3～4年	計画補修（塗装）として実施
			内部補修	1年	破損状況に応じて（ドア等補修）
			屋根補修	適宜判断	－
			給排水設備補修	1年	破損状況に応じて（配管等補修）
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
		木造	外部補修	2～3年	計画補修（塗装）として実施
			内部補修	1年	破損状況に応じて（ドア等補修）
			屋根補修	適宜判断	－
			給排水設備補修	1年	破損状況に応じて（配管等補修）
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
管理施設	サイン	木	塗装	2～3年	書換え含む
			パネル交換	適宜判断	－
		コンクリート	塗装	適宜判断	－
			パネル交換	適宜判断	－
		鋼材	塗装	3～4年	書換え含む
			パネル交換	適宜判断	－
	引込柱	鋼材	塗装、部品交換	3～4年	計画補修として実施（塗装）
	管理事務所	RC造	外部補修	5年	（塗装）チョーキング、さびが浮いたとき、変色がはなはだしいとき、はがれる傾向にあるとき
			内部補修	1年	破損状況に応じて（ドア等補修）
			屋根補修	適宜判断	－
			給排水設備補修	1年	破損状況に応じて（配管等補修）
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
	柵	木	塗装	適宜判断	－
			部材交換	適宜判断	－
		コンクリート	塗装	適宜判断	－
			部材交換	適宜判断	－
		鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部材交換	1～3年	破損状況に応じて
	柵(フェンス)	鋼材	塗装	3～4年	計画補修として実施
			部材交換	1～2年	破損状況に応じて
	柵(手すり)	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			一部取替	1～3年	破損状況に応じて
	時計	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			時計交換	適宜判断	－
	照明灯	アルミ	塗装	3～4年	計画補修として実施
		鋼材	部品交換	5～10年 15～20年	自動点滅器 電線類、分電盤
			灯具交換	1年	切れたもの、照度低下
			安定器交換	5～10年	－
	倉庫、機械室等	RC造	外部補修	5年	（塗装）チョーキング、さびが浮いたとき、変色がはなはだしいとき、はがれる傾向にあるとき
			屋根補修	適宜判断	－
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
		鋼材	外部補修	3年	（塗装）チョーキング、さびが浮いたとき、変色がはなはだしいとき、はがれる傾向にあるとき
			屋根補修	適宜判断	－
			電気設備補修	適宜判断	－
			機械設備補修	適宜判断	－
	門扉	鋼材	塗装	2～3年	計画補修として実施
			部品交換	1～3年	破損状況に応じて

出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】平成３０年１０月　国土交通省都市局公園緑地・景観課

（2）管理運営計画

天下森スキー場及び周辺施設の運営は、指定管理者制度による運営を実施している。

夏利用の強化を図っていく中で、イベント運営及びヒュッテにおけるそばの提供などが新しい取り組みとして考えられる。

また、「釣りキチ三平の里体験学習館」をはじめとする周辺施設との連携を図りながら、夏場にも利用できる施設運営及びイベント開発などを進めて魅力あるエリアづくりを図る。

7.夏虫沢ヒュッテ基本設計に向けて

夏虫沢ヒュッテ建築の基本設計に向けた今後の課題について以下に示す。

（1）屋根形状について

本計画では、屋根形状について極力自然落雪を抑えたいとのことから、緩勾配の屋根としている。積雪時の雪下ろし作業などの新たな維持管理の負担なども予測されることから、緩勾配か積極的に自然落雪を促すか屋根形状について、検討していく。

（2）休憩所のそば提供エリアの夏場営業について

休憩所において、夏場のそば提供エリア単独営業の可能性があるため、管理の仕方、ゾーニングや席の仕様等についても、検討していく。